

二 消産
 三 全部ノ維持ノ保管
 第九條 日直及宿直時間内ニ於テ本部職員ニシテ門ヲ開キ事務室ニ入ラントスルモノアルトキハ其ノ理由ヲ説明スルニ非ザレバ許可スルコトヲ得ズ
 第十條 日直及宿直員ハ小使及門衛ニ對シ嚴重ニ監督シ若シ規定ヲ守ラズ又ハ事務ヲ怠ル等ノコトアルトキハ總務司第四科ニ報告シ調査ノ上之ヲ處置スベシ
 第十一條 日直及宿直員ハ日直及宿直時間内ニ於テハ少クモ本部及宿舍ヲ二回巡視シ若シ寄宿人員ニ非ズシテ内ニ在リ聞談スル者又ハ寄宿セルモノアルトキハ嚴重ニ詰問シ其ノ退出ヲ命ズベシ
 第十二條 日直及宿直人員中特殊ノ事故ニ因リ當直不能ノ者アルトキハ總務司長ニ報告シ代理者ヲ派遣シテ當直セシムベシ若シ故ナクシテ遅レ又ハ早退シタルトキハ嚴重ヲ以テ之ヲ論ズ
 第十三條 本規則ニ未ダ盡サル事項アルトキハ該

三二六

時次長ヲ經テ部長ニ上陳シ之ヲ改ムルコトヲ得
 第十四條 本規則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

中華航空股份有限公司條例

(民國二十八年十二月十日公布)

第一條 中華航空株式會社ハ航空事業ノ振興發達ヲ圖リ之ヲ統制經營ニ當ル株式會社トス
 第二條 中華航空株式會社ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス
 一 旅客及動物又ハ其ノ他ノ貨物ノ航空機ニヨル運送
 二 航空機ノ賣貸借
 三 其ノ他航空機ヲ以テスル一切ノ事業
 四 航空事業ノ發展ニ資スベキ事業
 五 前各號ニ附帶スル事業
 六 前各號ニ揚グル事業ニ對スル投資又ハ融資
 第三條 中華航空株式會社ノ資本ハ五千萬圓トス但シ日華合辦航空株式會社設立ニ關スル協定ニ依ル聯合監督委員會ノ認可ヲ受ケ之ヲ增加スルコトヲ得
 第四條 中華航空株式會社ノ株主ハ一株ニツキ一

三二七

前ノ議決權ヲ有ス
 第五條 中華航空株式會社ノ株金ノ第一回拂込金額ハ株金ノ四分ノ一迄下ルコトヲ得
 第六條 中華航空株式會社ハ株金額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ增加スルコトヲ得
 第七條 中華航空株式會社ハ拂込株金額ノ二倍ニ達スル迄社債ヲ募集スルコトヲ得
 第八條 社債ヲ募集スル場合ニ於テハ公司法第百八十六條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ
 第九條 政府ハ社債ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付保證スルコトヲ得
 第十條 社債權者ハ中華航空株式會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先テ自己ノ債權ノ辦濟ヲ受クル權利ヲ有ス
 第十一條 中華航空株式會社ニ總裁一人、副總裁二人、理事四人以上及監事二人以上ヲ置ク

第十一條 總裁ハ中華航空株式會社ヲ代表シ社務ヲ
 總理ス副總裁ハ總裁ヲ輔佐シ中華航空株式會社ノ業
 務ヲ掌理シ總裁事故アルトキ若ハ缺員ノトキハ理事
 中ノ一人其ノ職務ヲ代理シ若ハ其ノ職務ヲ行フ
 理事ハ中華航空株式會社ノ業務ヲ監督ス
 第十二條 總裁及副總裁ハ株式會社ニ於テ之ヲ選任
 シ其ノ任期ハ四年トス
 第十三條 總裁及副總裁ハ株式會社ニ於テ之ヲ選任
 シ其ノ任期ハ三年トス
 第十四條 中華航空株式會社ハ左ノ事項ニ關シ聯合
 監督委員會ノ認可ヲ受クベシ
 一 總裁及副總裁其ノ他ノ重役ノ選任並ニ解任
 二 定款中重要ナル事項ノ變更
 三 資本ノ増加
 四 合併又ハ解散
 五 預算、決算及利益金處分
 第十五條 中華航空株式會社ハ左ノ事項ニ關シ聯合
 監督委員會ニ報告スベシ
 一 株主總會ノ決議
 二 事業計畫
 第十六條 政府ハ中華航空株式會社ニ對シ公益上必
 要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
 第十七條 政府ハ中華航空株式會社ニ對シ損失ハ政府之ヲ補
 償ス
 第十八條 政府ハ中華航空株式會社ニ對シ租稅關稅
 其ノ他一切ノ公課並ニ地方稅ヲ免除ス
 第十九條 中華航空株式會社ハ其ノ事業經營上必要
 アルトキハ他人ノ土地建物其ノ他ノ物件若ハ權利ヲ
 收用若ハ使用シ又ハ他人ノ土地建物其ノ他ノ物件ニ
 對スル權利ノ制限ヲ爲スコトヲ得
 第二十條 中華航空株式會社ハ其ノ經營スル航空事
 業ニ專用スル爲必要ナル通信、標識及放送ノ施設並
 ニ運用ヲ爲スコトヲ得
 第二十一條 政府ハ別ニ定ムル所ニ依リ中華航空株式
 會社ヲシテ國有飛行場ニ關セル權限ノ一部ヲ行使セ

シムルコトヲ得
 附則
 第二十條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 第二十一條 中華民國二十七年十二月十七日設立登記
 アリタル中華航空株式會社ハ本條例公布ノ日ヨリ本
 條例ニ依リ中華航空株式會社トス

華中水電股份有限公司規程

(民國二十七年十一月二十一日)
維新政府公報第二十七號

- 第一條 政府ハ華中水電株式會社ヲシテ中支那ニ於ケル電氣及水道事業ヲ統制經營セシメ同會社以外ニ同種事業ノ新設ヲ認メズ且既存ノ同種事業ハ速ニ同會社ノ統制下ニ入ラシム
- 第二條 自家用發電ハ餘熱利用等特別ノ場合ヲ除ク外之ヲ認メザルモノトス
- 第三條 發電、送電及配電ハ華中水電株式會社ヲシテ一貫的ニ經營セシムルモノトス
- 第四條 華中水電株式會社ノ水道事業ハ上水道及下水道事業ヲ兼營スルコトヲ得
- 第五條 華中水電株式會社ハ拂込株金額ノ二倍ヲ限リ社債ヲ募集スルコトヲ得
- 第六條 政府ハ華中水電株式會社ノ社債ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付保證スルコトアルベシ
- 第七條 政府ハ左ニ示ス公課ニ關シ之ヲ免除ス

三三〇

- 一 電氣及水道事業ノ復興ニ要スル重要機器材料ニ對スル三年間ノ關稅
- 二 會社設立ニ關スル登録稅
- 三 關稅以外ノ地方稅並其ノ他ノ公課
- 第八條 華中水電株式會社ハ政府ノ許可ヲ受ケテ人ノ土地ニ立入り電氣及水道工作物ノ施設ニ關スル調査若ハ測量ヲ爲シ又ハ工事ノ爲他人ノ土地ニ立入ルコトヲ得華中水電株式會社ハ電氣及水道工作物ノ修理又ハ視察ノ爲必要アルトキ其ノ工作物ヲ施設シタル他人ノ土地又ハ建築物ニ立入ルコトヲ得
- 第九條 華中水電株式會社ハ必要アルトキ電氣線路及水路ノ施設又ハ保守ニ障害ヲ及スベキ植物ヲ伐除シ又ハ移植スルコトヲ得
- 第十條 華中水電株式會社ハ道路、橋梁、溝渠、河川、堤防其ノ他公用ニ供セラルル土地ノ地上又ハ地中ニ電氣線路及水路ヲ施設スル必要アルトキハ其ノ効用ヲ妨ゲザル限度ニ於テ其ノ管理者ノ許可ヲ受ケテ之ヲ使用スルコトヲ得

- 第十一條 華中水電株式會社ハ必要アルトキハ現在ノ使用方法ニ妨ゲザル限度ニ於テ他人ノ地上ノ空間若ハ地中ニ電氣線路及水路ヲ施設シ又ハ建築物ノ存在セザル他人ノ土地ニ電氣線路ノ支持物ヲ建設スルコトヲ得
- 第十二條 政府ハ華中水電株式會社ニ對シ公益上必要ナル命令ヲ爲シ又ハ其ノ設備ニ必要ナル措置ヲ爲スコトアルベシ
- 第十三條 前項ノ處置ニ因リ生ジタル損失ハ政府之ヲ補償スルコトアルベシ
- 第十四條 華中水電株式會社ハ左ノ事項ニ付政府ノ認可ヲ受クベシ
 - 一 定款中重要ナル事項ノ變更
 - 二 社長及副社長ノ選任及解任
 - 三 合併及解散ノ決議

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三三一

華中水電股份有限公司修正條例

(民國二十九年三月二十一日公布)

第一章 總則

- 第一條 維新政府ハ戰後人民ノ生活ヲ回復シ迅速ニ水電事業ヲ改進セシメンガ爲メ中華中水電株式會社ノ設立ヲ許可ス
- 第二條 中華中水電株式會社ハ左ノ各種事業ヲ經營ス
 - 一 各地原有ノ水道又ハ電氣事業ノ協議ノ上合作方式ヲ以テ經營スベキモノ
 - 二 從來水道設備又ハ電氣事業設備無キ區域内ノ水電事業
 - 三 瀑布又ハ江河ヲ利用シ大量電流ノ製造ヲ計畫設置シ各地商人經營ノ電燈工場又ハ農事用ニ供給スルモノ
- 第四條 前項ニ關係スル附帶事業
- 第三條 中華中水電株式會社ノ經營スル前條ノ業務

三三三

ハ未開業前ニ於テ左ノ書類四部ヲ取り備ヘ當地地方官廳ニ送呈シ該官廳ニ維新政府ニ傳達シ審査ノ上認可ヲ經テ始メテ經營スルコトヲ得

- 一 企業計畫書
- 二 營業區域圖
- 三 收支概算表
- 四 工程計畫書並ニ附圖解說
- 五 營業章程概要
 - 一 水源ノ位置及水量ノ概要
 - 二 水質試驗表
 - 三 現在人口ト人口増殖後ノ水量ノ計算
- 經營スル事業ガ前條第一號ノモノナルトキハ左ノ書類ヲ併セ附加ス
 - 一 殘餘財産目錄並ニ一件宛明記セシ價格
 - 二 雙方協議ノ契約及其ノ代表人ノ姓名
 - 三 評價人ノ姓名履歷及雙方推舉ノ方法
- 四 舊公司ノ營業免狀又ハ其ノ他ノ證明文件

第四條 中華中水電株式會社ノ經營スル前條ノ業務

- ニヨリ許可セラレタル區域内ニ於テハ同様ノ業務ヲ經營スルコトヲ得ズ但シ餘額ヲ利用シ又ハ特別理由アルモノハ此ノ限ニ在ラズ
- 第五條 中華中水電株式會社ノ資本金五千萬圓中日本各半ヲ支出ス但シ株主會ノ議決維新政府ノ審査認可ヲ經テ比例シテ之ヲ增加スルコトヲ得
- 第六條 中華中水電株式會社ノ株主會ハ一株毎ニ一議決權ヲ有ス其ノ決議方法ハ出席株主ノ議決權過半數ノ同意ヲ以テ之ヲ行フ
- 第七條 中華中水電株式會社ノ經營期間内ニ政府必表アリト認ムルトキハ國營ニ歸セシムルコトヲ得政府ハ前項ノ規定ニ依リ國營ニ歸セシムルトキハ當該公司ノ資産全部ヲ適當價格ヲ以テ協議シ之ヲ買收ス

第二章 管理機關

第八條 中華中水電株式會社ノ最高管理機關ニ左ノ

三三三

者ヲ置ク

- 一 取締役一人 華人
- 二 取締役一人 日本人
- 三 常務取締役、取締役、監査役ノ定員ハ章程ヲ以テ之ヲ定ム但シ中日人員ハ平等配置スベシ
- 第九條 取締役、監査役ハ均シク株主會ノ選舉ニ由ル總取締役副總取締役常務取締役ハ取締役ノ互選ニ由ル
- 第十條 第八條ノ職員外ハ各部分各階級ノ人員少クトモ華人ハソノ百分ノ六十ヲ占ムベシ
- 第十一條 左ノ事項ハ取締役會ノ議決ヲ經ベシ
 - 一 重要規程ノ審定及修改事項
 - 二 重要契約ノ審定事項
 - 三 設備擴充及業務改進ノ審定事項
 - 四 公司財務ノ計畫及毎年度決算決算ノ審定事項
 - 五 公司職員ノ定員俸給等級ノ規定及中日人員配置事項
 - 六 高級職員ノ選出及任免事項

七 其ノ他重要事項

第三章 業務經營

第十二條 華中水電株式會社ノ經營スル第二條各項ノ業務ニシテ外國機械又ハ材料ヲ必要トスルトキハ實業部ニ申請シ上財政部ニ咨文ヲ傳達シ其ノ審査認可ヲ俟テ關稅ヲ減免スルコトヲ得

第十三條 華中水電株式會社ハ工程上ノ必要ニ因リ主管人ノ許可ヲ得テ河川、道路、橋梁、溝渠、堤防ヲ使用スルコトヲ得 但シ其ノ原有ノ效用ヲ妨害セザルヲ限度トス

第十四條 華中水電株式會社必要ノトキハ土地所有人及占有人ノ許可ヲ得テ土地ノ空間又ハ地下ニ電線路又ハ水路ヲ建設スルコトヲ得但シ土地所有人ノ現在使用法ヲ妨ケザル程度ヲ以テ限度トス

第十五條 電線路又ハ水路ヲ妨害スル樹木又ハ植物ハ所有人又ハ占有人ノ同意ヲ得テ華中水電株式會社ニ伐截又ハ移植スルコトヲ得

第十六條 第十三條乃至第十五條ノ損失ハ華中水電

三三四

株式會社之ヲ補償スベシ雙方協議整ハズ又ハ使用ヲ拒絕セラレ補償ヲ拒絕スルトキハ地方官廳ニ於テ之ヲ裁決ス

第十七條 華中水電株式會社ノ經營スル水道又ハ電力電燈點ハ總テ日夜供給スベク左ノ情況ヲ除クノ外之ヲ停止スルヲ得ズ

甲 使用家ノ使用不心得ニ因リ障害ヲ致セシモノ
乙 意外ノ事故又ハ天災地變ニ因リ不可抗力ナルモノ
丙 工作上ノ必要ニ因リ避免スル法無キモノ

但シ前以テ使用家ニ通告スベシ

第十八條 華中水電株式會社ノ各項ノ書付、帳簿、往來文件、對外通告ハ華文ヲ記載スルモノトシ人民ト接渉スル職員ハ華語ヲ使用スルモノトス

第十九條 華中水電株式會社ハ中國通用ノ貨幣ヲ使用スベシ

第四章 社債

第二十條 華中水電株式會社ノ發行スル社債ハ維新政府ニ呈シ其ノ許可ヲ得ベシ但シ償還額ノ株數ノ二倍ヲ超過スルコトヲ得ズ

第二十二條 前條ノ手續ニ依リ募集セシ社債ハ維新政府其ノ償還金額ノ償還及利息ノ支拂ヲ保證スルコトヲ得

第二十三條 社債ノ債權人ハ華中水電株式會社ノ財産ニ對シ優先的受償權ヲ有ス

第五章 政府ノ監督

第二十三條 華中水電株式會社ハ維新政府實業部及地方官廳ノ指揮監督ヲ受ケベシ

第二十四條 維新政府實業部及地方官廳ハ華中水電株式會社ニ對シ公益上必要ナル命令又ハ設備上必要ノ處置ヲ爲スコトヲ得前項ノ處置ヨリ生ズル損失ハ政府之ヲ見計ヒ償還スルコトヲ得但シ街燈ハ地方財政情況觀察ノ上會社純損ノ一部ヲ見計ヒ償還スルコトヲ得防火用水ハ會社ニテ供給ノ義務ヲ有ス

第二十五條 地方官廳ハ電氣メートル水道ノメートル比較驗査所、水質化學驗査所ヲ設置シ隨時華中水電株式有限公司ノ裝備セル電氣メートル水道メートル及水質ヲ引キ抜キ驗査シ又ハ人民ノ請求ヲ受ケテ比較驗査又ハ化學驗査スルコトヲ得

第二十六條 左ノ事項ハ四部取揃ヘ地方官廳ニ呈シ之ヨリ級順ニ實業部ニ傳達シ審査ノ上認可スベシ

一 各種章程及價價ノ制定變更
二 總取締役副取締役、常務取締役、取締役、監査役ノ就任又ハ解任
三 合併又ハ解散ノ決議
四 社債ノ募集及停止

第二十七條 左ノ事項ハ四部取揃ヘ營業年度後三月内ニ地方官廳ニ呈シ之ヨリ級順ニ實業部ニ傳達報告スベシ

一 每營業年度ノ事業計畫ノ大要
二 株主ノ株式台帳
三 每營業年度ノ營業報告書、財産目錄、貸借對照

三三五

表、損益計算書及利益ノ分配
株主會ノ決議記録

第六章 附則

第二十八條 本條例未規定ノ事項ハ商法公司(會社)編
公用事業監督條例及其ノ他水電管理ニ關スル法規ヲ
適用ス
第二十九條 本條例ノ稱スル地方官廳トハ特別市ニ在
リテハ公用局トシ普通市ニ在リテハ工用局トシ縣ニ
在リテハ縣廳トス
第三十條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

中華電影股份有限公司條例

(民國二十九年三月二十一日公布)

第一條 維新政府ハ中華映畫事業ノ經營ヲ統一シ
以テ中日滿思想ノ融和ト文化ノ發展ヲ謀ランガ爲特
ニ中華映畫株式會社ノ設立ヲ許可ス
第二條 中華映畫株式會社ハ左ノ各項事業ヲ經營
ス
一 フィルムノ製造
二 フィルムノ分配及輸出輸入事項
三 フィルムノ上映
四 同様事業ニ對スル投資
五 前列各號ノ附帶事業
第三條 中華映畫株式會社ハ總公司ヲ上海ニ設ク
第四條 中華映畫株式會社ノ資本ハ百萬圓ト定ム
其ノ中五十萬圓ハ維新政府ヨリ投資ス
中華映畫株式會社ハ維新政府ノ許可ヲ經テ資本ヲ增
加スルコトヲ得
第五條 中華映畫株式會社ノ株式ハ記名式トシ其
ノ株主ハ中日滿三國政府國民又ハ法人ニ限ル
第六條 中華映畫株式會社ハ取締役五人監査役三
人ヲ置ク
取締役中ヨリ一人ヲ推選シテ社長トシ一人ヲ常務取
締役トス
第七條 中華映畫株式會社ハ左ノ事項ニ關シ政府
ノ認可ヲ經ベシ
一 社長ノ選任及解任
二 章程中重要事項ノ變更
三 合併解散ノ決議
四 國策フィルムノ攝影作製ノ計畫及變更
第八條 維新政府ハ中華映畫株式會社ノ事業ニ關
シ公益上ノ必要ニ因リ命令ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得
第九條 維新政府ハ中華映畫株式會社ノ中日滿三
國ニテ攝影作製セシフィルムヲ華中ニ於テ單獨分配
スルコトヲ特ニ許可ス
第十條 維新政府ハ中華映畫株式會社ニ對シ必要

ナリト認ムルトキハ補助金及其ノ他ノ協助ヲ與フル
コトヲ得

第十一條 中華映畫株式會社ハ毎營業年度ソノ利益
分配ガ政府所有ニ非ザル株式ニ對シ百分ノ六ニ達セ
ザルトキハ政府所有ノ株式ニハ利益金ヲ分給セズ

第十二條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三二八

華興商業銀行暫行條例

民國二十八年四月二十二日

- 第一條 華興商業銀行ノ組織ハ株式會社トシ對外
貿易、金融事業、其ノ他ノ銀行業務ノ經營ヲ目的
トス
- 第二條 華興商業銀行ノ資本金ハ華幣五千萬圓ト
シ本店ヲ上海ニ設ク必要ナル地方ニ分店又ハ支店ヲ
設クルコトヲ得
- 第三條 華興商業銀行ニハ總裁及副總裁各一人、
理事五人以上及監事三人ヲ置ク
- 第四條 總裁及副總裁ハ政府之ヲ任命シ其ノ任期
ハ各四年トス
- 理事及監事ハ均シク株主總會ニ依リ之ヲ選舉シ政府
ノ許可ヲ經タル後就任スルモノトス理事ノ任期ハ三
年トシ監事ノ任期ハ一年トス
- 第五條 總裁ハ華興商業銀行ヲ代表シ行務ヲ統轄
シ理事會、行務會議及株主總會ノ主席ト爲ル

三二九

- 副總裁ハ總裁ヲ輔佐シ行務ヲ處理ス總裁事故アルト
キハ其ノ職務ヲ代理シ總裁死去シタルトキハ其ノ職
務ヲ代行ス
- 第六條 華興商業銀行ハ命令ノ定ムル處ニ依リ兌
換券及補助貨幣ヲ發行スルコトヲ得
- 第七條 華興商業銀行ハ政府ノ委託ヲ受ケ國庫及
國債事務ノ全部又ハ一部ヲ代理スルコトヲ得
- 第八條 華興商業銀行章程中改修ノ箇所アルトキ
ハ政府ノ許可ヲ經テ之ヲ改修スベシ

商法會社編

民國二十七年十二月十日

第一章 通則

- 第一條 本法ニ於テ會社ト稱スルハ營利ヲ目的トシテ設立シタル團體ヲ謂フ
- 第二條 會社ヲ分テ左ノ四種トス
 - 一 合名會社
 - 二 合資會社
 - 三 株式會社
 - 四 株式合資會社
- 第三條 會社ハ其ノ種類ヲ標明スルコトヲ要ス
- 第四條 會社ハ其ノ本店ノ所在地ヲ以テ住所トス
- 第五條 會社ハ本店所在地ノ主管官署ニ於テ登記シタル後ニ非ザレバ成立スルコトヲ得ズ
- 第六條 前項ニ定メタル登記ノ申請ハ會社ノ定款作成ノ後十

三三〇

五日內ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 第七條 會社ガ登記後六月ヲ經ルモ營業ヲ開始セザルトキハ主管官署ハ實業部ニ申請シテ其ノ登記ヲ取消スルコトヲ得
- 第八條 會社ノ登記事項ニ變更ヲ生ジタトキハ變更ノ後十五日內ニ主管官署ニ變更ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス
- 第九條 會社ノ設立登記ノ後登記スベキ事項アルモ之ヲ登記セズ又ハ已ニ登記シタル事項ニ變更アルモ變更ノ登記ヲ爲サザルトキハ其ノ事項ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ
- 第十條 會社ノ解散ハ破産ノ場合ヲ除クノ外解散

命令ヲ接受シ又ハ解散ヲ決議シタル後十五日內ニ主管官署ニ解散ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第十一條 會社ハ他ノ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ズ

第二章 合名會社

- 第一節 設立
- 第十二條 合名會社ノ設立ニハ二人以上ノ社員ガ共同シテ定款ヲ作成シ之ニ署名捺印ノ上各自一通宛テ所持スルコトヲ要ス
- 第十三條 合名會社ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス
 - 一 會社ノ名稱
 - 二 營業
 - 三 社員ノ姓名、住所
 - 四 本店、支店及其ノ所在地
 - 五 社員ノ出資ノ種類及價格又ハ評價ノ標準
 - 六 定款作成ノ年月日

第十四條 會社ハ定款作成後十五日內ニ主管官署ニ

- 左ノ事項ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス
 - 一 前條ニ掲ゲタル事項
 - 二 解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ事由
 - 三 會社ノ代表スベキ社員ヲ定メタルトキハ其ノ姓名

第二節 會社ノ内部關係

- 第十五條 會社ノ内部關係ニ付テハ法律ニ規定アルモノヲ除ク外定款ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得
- 第十六條 社員ガ債權ヲ以テ出資ニ充テタル場合ニ於テ其ノ債權ガ期限ニ到リテ辨濟ヲ受クルコト能ハザルトキハ其ノ社員ハ之ヲ補償スルコトヲ要シ尙損害アリタルトキハ併セテ之ガ賠償ノ責ヲ負フ
- 第十七條 會社ノ損益ノ分配ニ關シ定款ニ規定ナキトキハ社員ノ出資ノ多寡ヲ以テ標準トス
- 第十八條 定款ニ於テ利益又ハ損失ニ付テノミ分配ノ割合ヲ定メタルトキハ其ノ割合ハ利益及損失ニ付均シク之ヲ適用ス

三三一

第十八條 各社員ハ均シク業務ヲ執行スルノ權利ヲ一有シ義務ヲ負フ但シ定款ニ於テ社員中ノ一人又ハ數人ガ義務ヲ執行スベキコトヲ規定シタルトキハ其ノ規定ニ從フ

第十九條 社員ノ數人又ハ全員ニテ義務ヲ執行スルトキハ義務ノ執行ニ關シテハ其ノ過半數ノ決議ニ依リ義務執行社員ハ通常ノ事務ニ關シテハ各自單獨ニ之ヲ執行スルコトヲ得但シ他ノ義務執行社員ガ異議ヲ提出シタルトキハ直チニ其ノ執行ヲ停止スルコトヲ要ス

第二十條 支配人ノ選任及解任ハ總社員ノ過半數ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第二十一條 會社ガ定款ヲ變更シ又ハ定款ニ定メタル事業ノ範圍外ノ行為ヲ爲スニハ總社員ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第二十二條 業務執行社員ニ非ザル社員ハ業務執行社員ニ對シテ會社ノ營業狀態ヲ質問シ財産及文書ヲ査閱スルコトヲ得

第二十三條 業務執行社員ハ特約アルニ非ザレバ會社ニ對シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得ズ

第二十四條 社員ガ業務執行ノ爲ニ立替タル金銭ハ會社ニ對シテ其償還利息ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得若シ債務ヲ負擔シ其ノ擔保期ニ在ラザルトキハ相當ナル擔保ノ提供ヲ請求スルコトヲ得

第二十五條 社員ガ業務執行ノ爲ニ自己ニ過失ナクシテ損害ヲ受ケタルトキハ會社ニ對シテ其ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第二十六條 社員ノ業務執行ハ定款及社員ノ決議ニ從フコトヲ要ス

前項ノ規定ニ違反シテ會社ニ損害ヲ及ボシタルトキハ賠償ノ責ヲ負フコトヲ要ス

三三三

第二十七條 社員ガ會社ニ代リテ金銭ヲ受取リタル場合ニ於テ相當ノ期間内ニ其ノ金額ニ應ジテ之ヲ會社ニ引渡サズ又ハ會社ノ金銭ヲ流用シタルトキハ利息ヲ加算シテ之ヲ償還スルコトヲ要ス若シ損害アリタルトキハ併セテ之ガ賠償ヲ爲スコトヲ要ス

第二十八條 社員ハ他ノ社員全員ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ自己又ハ他人ノ爲ニ會社ノ營業ト同種類ノ行為ヲ爲シ又ハ他ノ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ズ

社員ガ前項ノ規定ニ違反シタルトキハ他ノ社員ハ過半數ノ決議ヲ以テ該社員ガ自己又ハ他人ノ爲ニ爲シタル行為ヲ以テ會社ノ爲ニ爲シタルモノト看做スコトヲ得但シ行為ノ時ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ此ノ限りニ在ラズ

第二十九條 社員ハ他ノ社員ノ全員ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ其ノ持分ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得ズ

第三十條 會社ノ對外關係

第三十條 會社ハ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ會社ノ代表スベキ社員ヲ定ムルコトヲ得若シ之ヲ定メザルトキハ各社員ハ均シク會社ヲ代表スルコトヲ得

第三十一條 會社ヲ代表スベキ社員ハ會社ノ營業上ノ一切ノ事務ヲ處理スル權限ヲ有ス

第三十二條 會社ガ社員ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第三十三條 會社ヲ代表スベキ社員又ハ支配人ガ業務ノ執行ニ因リ他人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ行為者ハ會社ト連帶シテ賠償ノ責ヲ負フコトヲ要ス

第三十四條 會社ヲ代表スベキ社員ガ自己又ハ他人ノ爲ニ會社ト買賣、貸借又ハ其ノ他ノ法律行為ヲ爲ストキハ同時ニ會社ヲ代表スルコトヲ得ズ但シ會社ニ對シテ債務ヲ擔保スルトキハ此ノ限りニ在ラズ

第三十五條 會社ノ財産ガ其ノ債務ヲ完済スルニ足ラザルトキハ社員ハ連帶シテ其ノ責任ヲ負フ

第三十六條 會社ニ加入シテ社員トナリタルトキハ其ノ加入前ニ於ケル會社ノ債務ニ付テモ其ノ責ヲ負フ

三三三

コトヲ要ス

第三十七條 社員ニ非ザル者ガ他人ヲシテ其ノ社員タルコトヲ信セシムベキ行爲ヲ爲シタルトキハ善意ノ第三者ニ對シテ社員ト同一ノ責任ヲ負フコトヲ要ス

第三十八條 會社ハ損失ヲ填補シタル後ニ非ザレハ利益ヲ配當スルコトヲ得ズ

第三十九條 會社ノ債務者ハ其ノ債務ヲ以テ其ノ社員ニ對スル債權ト相殺スルコトヲ得ズ

第四十條 定款ヲ以テ會社ノ存続期間ヲ定メザルトキハ退社ニ關シ別段ノ定アル場合ヲ除ク外社員ハ每營業年度ノ終ニ於テ退社スルコトヲ得但シ六月前ニ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ告知スルコトヲ要ス

社員ニシテ已ムテ得ザル事由アルトキハ會社ノ存続期間ノ定アルト否トニ拘ラス何時ニテモ退社スルコトヲ得

第四十一條 前條ニ定メタル場合ヲ除クノ外社員ハ左記事由一ニ因リテ退社ス

一 定款ニ定メタル事由ノ發生

二 死 亡

三 破 産

四 禁治産ノ宣告

五 除 名

第四十二條 社員ニ左記事由一ナル場合ニハ他ノ社員ノ一致ヲ以テ除名ヲ決議スルコトヲ得但シ其ノ旨通知シタル後ニ非ザレバ之ヲ以テ其ノ社員ニ對スルコトヲ得ズ

一 出資ヲ爲スコト能ハザルトキ又ハ屢々催告スルモ出資ヲ爲サザルトキ

二 第二十八條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ

三 不正ノ行爲ヲ爲シテ會社ノ利益ヲ妨害シタルトキ

四 重要ナル義務ヲ違サザルトキ

第四十三條 會社ノ名稱中ニ社員ノ姓又ハ姓名ヲ使用セル場合ニ其ノ社員ガ退社シタルトキハ其ノ使用ノ停止ヲ請求スルコトヲ得

第四十四條 退社員ト會社トノ決算ハ退社ノ時ニ於ケル會社財産ノ狀況ニ從テ之ヲ爲スコトヲ要ス

退社員ノ出資ハ其ノ種類ノ如何ヲ問ハズ均シク金銭ヲ以テ之ヲ拂戻スコトヲ得

退社ノトキ會社ノ業務ニシテ未ダ終了セザルモノアルトキハ其ノ終了ノ後計算シテ損益ヲ分配ス

第四十五條 退社員ハ主管官署ニ登記ヲ申請スルヲ要シ登記前ニ於ケル會社ノ債務ニ對シテハ登記後二年內ハ仍舊無限ノ責任ヲ負フ

社員ガ其ノ持分ヲ讓渡シタルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

第五節 會社ノ解散

第四十六條 會社ハ左記事由一ニ因リテ解散ス

一 定款ニ定メタル解散事由ノ發生

二 會社ノ營業ノ成就又ハ其ノ不能

三 總社員ノ同意

四 社員ガ一人トナリタルトキ

五 他ノ會社トノ合併

六 破 産

七 解散ノ命令

社員ハ已ムテ得ザル事由アルトキハ法院ニ前項第七號ニ定ムル命令ヲ申請スルコトヲ得

第四十七條 會社ハ總社員ノ同意ヲ以テ會社ト合併スルコトヲ得

第四十八條 會社ガ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ直チニ貸借對照表及財産目録ヲ調製スルコトヲ要ス

會社ハ合併ノ決議後直チニ各債權者ニ對スル各別ノ通知及公告ヲ以テ三月以上ノ期間ヲ定メ債權者ハ其ノ期間内ニ異議ヲ提出シ得ベキ旨ヲ告知スルコトヲ要ス

第四十九條 會社ガ前條ニ定メタル通知及公告ヲ爲サズ又ハ其ノ指定シタル期間内ニ異議ヲ提出シタル債權者ニ對シテ總清算ヲ爲サズ又ハ相當ノ擔保ヲ提供ザルトキハ其ノ合併ヲ以テ其ノ債權者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第五十條 會社ガ合併シタルトキハ十五日內ニ主管

官署ニ左ノ規定ニ從ヒ登記ヲ申請スルコトヲ要ス
一 合併ニ因リテ存続スル會社ニ付テハ變更ノ登記
二 合併ニ因リテ消滅シタル會社ニ付テハ解散ノ登
記
三 合併ニ因リテ新ニ設立シタル會社ニ付テハ設立
ノ登記
第五十一條 合併ニ依リテ消滅シタル會社ノ權利義務
ハ合併後存続スル會社又ハ新ニ設立シタル會社ニ於
テ之ヲ承継スルモノトス
第六節 清算
第五十二條 解散シタル會社ハ清算中清算ノ範圍内ニ
於テハ未ダ解散セザルモノト看做ス
第五十三條 解散後ノ會社財産ハ社員ノ決議ニ依リテ
清算人ヲ定メタル場合ヲ除ク外社員ニ於テ清算ス
ルコトヲ要ス
第五十四條 社員ガ清算スル場合ニ於テ社員中ニ死
亡者アリタルトキハ清算事務ハ其ノ相続人ニ於テ之
ヲ行ヒ相続人數人アルトキハ一人ヲ定メテ之ヲ行フ

三三六

コトヲ要ス
第五十五條 第五十三條ノ規定ニ依リテ清算人ヲ定ム
ルコト能ハザルトキハ法院ハ利害關係人ノ申請ニ因
リ清算人ヲ選任スルコトヲ得
第五十六條 法院ハ利害關係人ノ申請ニ因リ必要ト認
メタルトキハ清算人ヲ解任スルコトヲ得但シ社員ノ
選任シタル清算人ノ解任ハ社員ノ過半数ノ決議ニ依
リテ之ヲ行フコトヲ得
第五十七條 清算人ハ就任ノ後十五日内ニ其ノ姓名住
所及就任シタル日ヲ裁判所ニ届出ヅルコトヲ要ス
清算人ノ解任ハ社員ヨリ十五日内ニ之ヲ裁判所ニ届
出ヅルコトヲ要ス
清算人ハ裁判所ガ之ヲ選任シタルトキハ之ヲ公告ス
ルコトヲ要ス解任ノトキ亦同シ
第五十八條 清算人ノ職務左ノ如シ
一 現務ノ終了
二 債權ノ取立及債務ノ辨濟
三 殘餘財産ノ分配

清算人ハ前項ニ定ムル職務執行ノ爲メニ會社ヲ代表
シテ一切ノ行為ヲ爲ス權有ス
第五十九條 清算人數人アルトキハ清算ニ關スル事務
ノ執行ハ其ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス但シ第三者ニ對
シテハ各自會社ヲ代表スル權有ス
第六十條 清算人ノ代表權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以
テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ
第六十一條 清算人ハ就任ノ後直ニ會社財産ノ狀況ヲ
検査シ貸借對照表及財産目録ヲ作成シ各社員ニ送付
シテ其ノ査閱ニ供スルコトヲ要ス
清算人ハ六月内ニ清算ヲ完了スルコトヲ要シ若シ其ノ
期間内ニ之ヲ完了スルコト能ハザルトキハ裁判所ニ其
ノ理由ヲ具シテ期間ノ延長ヲ申請スルコトヲ得
清算人ハ社員ノ質問ヲ受ケタルトキハ何時ニモ清
算ニ關スル狀況ヲ答辨スルコトヲ要ス
第六十二條 清算人ハ就任ノ後公告ヲ以テ債權者ニ對
シテ其ノ債權ヲ届出ヅヘキコトヲ催告スルト共ニ知
レタル債權者ニ對シテハ其ノ旨ヲ各別ニ通知スルコ

三三七

トヲ要ス
第六十三條 會社ノ財産ガ其ノ債務ヲ完済スルニ足ラ
ザルトキハ清算人ハ直ニ破産ノ宣告ヲ申請スルコト
ヲ要ス清算人ガ其ノ事務ヲ破産管財人ニ引渡シタル
トキハ其ノ職務ハ之ニ因リテ終了ス
第六十四條 清算人ハ會社ノ債務ヲ完済シタル後ニ非
ザレハ會社ノ財産ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ズ
第六十五條 殘餘財産ノ分配ハ各社員ノ出資ノ依リテ
之ヲ定ム
第六十六條 清算人ハ清算終了後十五日内ニ決算報告
書ヲ編製シ各社員ニ送付シテ其ノ承認ヲ求ムルコト
ヲ要ス此ノ場合ニ於テ社員ガ一月内ニ異議ヲ提出セ
ザルトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス但シ清算人
ニ不正ノ行為アリタルトキハ此ノ限りニ在ラズ
第六十七條 清算人ハ清算終了ノ後十五日内ニ其ノ旨
ヲ裁判所ニ届出ヅルコトヲ要ス
第六十八條 會社ノ帳簿其ノ他營業並ニ清算事務ニ關
スル文書ハ清算終了ノ時ヨリ十年間之ヲ保存スルコ

トヲ要シ其ノ保存者ハ社員ノ過半数ヲ以テ之ヲ定ム
第六十九條 社員ノ連帶無限責任ハ解散ノ登記ヲ爲シ
タル後五年ヲ経過シタルトキ消滅ス

第三章 合資會社

第七十條 合資會社ハ無限責任社員ト有限責任社員
ト以テ之ヲ組織ス有限責任社員ハ其ノ出资额ノ限
度ニ於テ會社ニ對シテ責任ヲ負フ
第七十一條 合資會社ニハ本章ニ規定スルモノヲ除ク
外第二章ノ規定ヲ準用ス
第七十二條 合資會社ノ定款ニハ第十三條ニ掲ゲタル
事項ノ外各社員ノ責任ノ無限又ハ有限ナルコトヲ記
載スルコトヲ要ス
第七十三條 有限責任社員ハ信用又ハ勞務ヲ以テ出資
ト爲スコトヲ得ズ
第七十四條 支配人ノ選任又ハ解任ハ無限責任社員ノ
過半数ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス
第七十五條 有限責任社員ハ營業年度ノ終ニ於テ會社

三三八

ノ業務及財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得
必要アル場合ニ於テハ法院ハ有限責任社員ノ申請ニ
依リ何時ニテモ會社ノ業務及財産ノ狀況検査ヲ許ス
コトヲ得

第七十六條 有限責任社員ハ無限責任社員ノ四分
ノ三以上ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ其ノ持分ノ全部又
ハ一部ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得ズ
第七十七條 有限責任社員ハ自己又ハ他人ノ爲ニ會社
ノ營業ト同種類ノ行爲ヲ爲シ又他ノ會社ノ無限責任
社員ト爲ルコトヲ得
第七十八條 有限責任社員ガ他人ヲシテ其ノ無限責任
社員タルコトヲ信セシムベキ行爲ヲ爲シタルトキハ
善意ノ第三者ニ對シテ無限責任社員ノ責任ヲ負フ
第七十九條 有限責任社員ハ會社ノ業務ヲ執行シ又ハ
外部ニ對シ會社ヲ代表スルコトヲ得ズ
第八十條 有限責任社員ハ禁治産ノ宣告ヲ受クルニ
因リテ退社スルコトナシ
有限責任社員ガ死亡シタルトキハ其ノ持分ハ其ノ相

個人ニ歸屬ス

第八十一條 有限責任社員ハ已ムヲ得ザル事由アルト
キハ無限責任社員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ退社
シ又ハ裁判所ニ其ノ退社ノ許可ヲ申請スルコトヲ得
第八十二條 有限責任社員ニ左記事由ノ一アルトキハ
無限責任社員全員ノ同意ヲ以テ之ヲ除名スルコトヲ
得
一 出資義務ヲ履行セザルトキ
二 不正行爲ヲ以テ會社ノ利益ヲ妨害セタルトキ
前項ノ除名ハ當該社員ニ通知シタル後ニ非ザレバ之
ニ對抗スルコトヲ得ズ
第八十三條 合資會社ハ無限責任社員又ハ有限責任社
員全員ノ退社ニ因リテ解散ス但シ有限責任社員全員
ガ退社シタルトキハ無限責任社員全員ノ同意ヲ以テ
之ヲ合名會社ニ改ムルコトヲ得
第八十四條 合資會社ヲ改メテ合名會社ト爲シタルト
キハ十五日内ニ主管官署ニ申請シテ合資會社ニ付テ
ハ解散ノ登記ヲ爲シ合名會社ニ付テハ設立ノ登記ヲ

爲スコトヲ要ス

第八十五條 合資會社ガ解散シタルトキハ無限責任社
員ノ過半数ノ決議ニ依リテ清算人ヲ選任スルコトヲ
得
前項ニ定ムル決議ヲ爲サザルトキハ無限責任社員ノ
全員ニ依リテ清算ヲ行フ
第八十六條 前條第一項ニ定ムル清算法ハ無限責任社
員ノ過半数ノ決議ニ依リテ之ヲ解任スルコトヲ得
第四章 株式會社
第二節 設立
第八十七條 株式會社ニハ七人以上ノ發起人アルコト
ヲ要ス
第八十八條 發起人ハ定款ヲ作成シ之ニ左記事項ヲ記
載シテ署名捺印スルコトヲ要ス
一 會社ノ名稱
二 營業
三 株式ノ總額及一株ノ金額

三三九

四 本店支店及其ノ所在地
五 會社ガ公告ヲ爲ス方法
六 取締役及監査役ノ被選舉資格
七 發起人ノ姓名及住所
第八十九條 左記事項ハ定款ニ記載スルニ非ザレハ其ノ効力ヲ生ゼズ
一 解散ノ事由
二 株券ノ額面金額以上ノ發行
三 發起人ノ受クベキ特別ノ利益及之ヲ受クヘキ者ノ姓名
第九十條 發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケタルトキハ直ニ其ノ株數ニ按ジテ第一回ノ株金ノ拂込ヲ爲シ且取締役及監査役ヲ選任スルコトヲ要ス
前項ニ定ムル選任ノ方法ハ發起人ノ表決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス
第九十一條 取締役ハ就任シタル後直ニ主管官署ニ検査員ヲ選任シテ第一回ノ株金ノ拂込アリタリヤ否ヤ並ニ左記事項ノ正當ナリヤ否ヤヲ検査スベキコトヲ要ス

申請スルコトヲ要ス
一 金錢以外ノ財産ヲ以テ株金ノ拂込ニ充テタル者アルトキハ其ノ姓名、財産ノ種類、價格及之ニ對シテ會社ノ與フル株式ノ數
二 會社ノ負擔ニ歸スベキ設立費用及發起人ノ受クヘキ報酬ノ額
第九十二條 主管官署ハ發起人ノ受クベキ特別利益、報酬及設立費用ヲ調査シ若シ不當ト認ムルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得
株金ノ拂込ニ充テタル財産ノ評價ガ高キニ過ギタルトキハ之ニ對シテ與ヘタル株式ノ數ヲ減少シ又ハ不足額ヲ補足セシムルコトヲ得
第九十三條 發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケザルトキハ其ノ總數ニ達スル迄株主ヲ募集スルコトヲ要ス
第九十四條 發起人ハ聯單式ノ株式申込證ヲ作り左記事項ヲ記載シ株式申込人ハ之ニ其ノ引受クベキ株式ノ數、金額及住所ヲ記入シテ署名捺印スルコトヲ要ス

三四〇

一 定款作成ノ年月日
二 第八十八條第八十九條及第九十一條ニ掲ゲタル各號事項
三 各發起人ガ引受ケタル株式ノ數
四 第一回拂込ノ株金額
五 株式總數ノ募集完了ノ期限及其ノ期限ヲ逾ニルモ募集ヲ完了セザルトキハ株式申込人ニ於テ其ノ申込タル株式ヲ取消スコトヲ得ベキ旨ノ表明
券面額以上ノ金額ヲ以テ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ株式申込人ハ株式申込證ニ其ノ引受金額ヲ記載スルコトヲ要ス
第九十五條 株式申込人ハ株式申込證ノ記載ニ從ヒ株式拂込ノ義務ヲ負フ
第九十六條 株式發行ノ價格ハ券面額ヲ下ルコトヲ得ズ
第一回ノ拂込ムベキ株金ハ券面金額ヲ二分ノ一ヲ下ルコトヲ得ズ
第九十七條 株式ノ總數ニ對スル募集ヲ終リタルトキ

ハ發起人ハ直ニ各株式引受人ニ對シ第一回ノ株金ノ拂込ヲ請求スルコトヲ要ス
券面以上ノ金額ヲ以テ株式ヲ發行シタルトキハ其ノ超過額ハ第一回ノ拂込株金ト同時ニ之ヲ拂込マシムルコトヲ要ス
第九十八條 株式引受人ガ第一回ノ拂込ヲ爲サザルトキハ發起人ハ株式引受人ニ對シ二月以上ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ引受株式ノ數ニ照シテ拂込ヲ爲スベキコトヲ催告シ並ニ其ノ期間ヲ經過スルモ拂込ヲ爲サザルトキハ其ノ權利ヲ失フベキ旨ヲ通知スルコトヲ要ス
發起人ガ前項ニ定ムル催告ヲ爲スモ株式引受人ガ株式ノ數ニ照シテ拂込ヲ爲サザルトキハ直ニ其ノ權利ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ其ノ引受ケタル株式ニ付別ニ株主ノ募集ヲ行フ
前項ノ場合ニ於テ損害ヲ生ジタルトキハ株式引受人ニ對シテ其ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得
第九十九條 第一回ノ拂込ヲ完了シタルトキハ發起人

三四一

ハ三月内ニ創立總會ヲ召集スルコトヲ要ス
九條乃至第三十一條第三十四條第一項及第三項
並ニ第百三十五條ノ規定ヲ準用ス
創立總會ノ決議ハ株式引受人ノ過半数ニシテ株式總
數ノ過半数ヲ代表スル者ガ出席シテ其ノ議決權ノ過
半数ヲ以テ之ヲ行フコトヲ要ス出席者ガ前項ニ定ム
ル員數ニ達セザルトキハ出席者ノ決議權ノ過半数ヲ
以テ假決議ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ各株式
引受人ニ其ノ假決議ヲ通知シ且無記名式ノ株式ヲ發
行シタルトキハ之ヲ公告シテ一月内ニ更ニ創立總會
ヲ召集スルコトヲ要シ其ノ決議ハ出席者ノ議決權ノ
過半数ヲ以テ之ヲ行フ
第百一條 發起人ハ設立ニ關スル一切ノ事項ヲ創立
總會ニ報告スルコトヲ要ス
第百二條 創立總會ニ於テハ取締役及監査役ヲ選任
スルコトヲ要ス
第百三條 取締役及監査役ハ左ニ掲ゲタル事項ヲ調
査シテ之ヲ創立總會ニ報告スルコトヲ要ス
一 株式總數ノ引受アリタリヤ否ヤ
二 各株式引受人ハ第一回ノ株金ノ拂込ヲ爲シタリ
ヤ否ヤ
三 第八十九條第三號及第九十一條各款ニ掲ゲタル
事項ノ正當ナリヤ否ヤ
取締役又ハ監査役ニシテ發起人中ヨリ選出セラレタ
ル者アルトキハ創立總會ハ別ニ検査役ヲ選任シテ前
項ニ定ムル調査及報告ヲ爲サシムルコトヲ得
第百四條 發起人ノ受クベキ特別利益、報酬又ハ設
立費用ニシテ不當ト認ムルトキハ創立總會ハ之ヲ削
減スルコトヲ得
株金ノ拂込ニ充テタル財産ノ評價高キニ過ギタルト
キハ創立總會ハ之ニ對シテ與ヘタル株式ノ數ヲ減少
シ又ハ不足額ヲ補足セシムルコトヲ得
第百五條 引受ナキ株式又ハ引受アリタルモ第一回
ノ株金拂込ヲ爲サザル株式アルトキハ發起人ハ連帶
シテ之ガ引受及拂込ヲ爲スコトヲ要ス株式ノ申込ガ

三四二

取消サレタルトキ亦同ジ
第百六條 前二條ノ場合ニ於テ會社ガ損害ヲ受ケタ
ルトキハ發起人ニ對シテ賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得
第百七條 創立總會ニ於テハ定款ノ改修又ハ會社ヲ
設立セザル旨ノ決議ヲ爲スコトヲ得
第百八條 株式總數ノ募集ヲ完了シタル後六月内ニ
第一回ノ株金拂込ガ完了セザルトキ又ハ其ノ拂込完
了ノ後三月内ニ發起人ガ創立總會ヲ召集セザルトキハ
株式引受人ハ其ノ株式ノ申込ヲ取消スコトヲ得
第百九條 發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケタルトキハ
第九十一條ニ定ムル検査ノ終了後又發起人ガ株式ノ
總數ヲ引受ケザルトキハ創立總會ノ終結後十五日内
ニ取締役ハ主管官署左記事項ノ登記ヲ申請スルコト
ヲ要ス
一 第八十八條第一號乃至第五號ニ掲ゲタル事項
二 各株ニ付拂込ミタル金額
三 取締役及監査役ノ姓名及住所
四 解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ事由
第百十條 會社ガ設立ノ登記ヲ爲シタル後ハ株式引
受人ハ其ノ株式引受ヲ取消スコトヲ得ズ
第二節 株式
第百十一條 株式會社ノ資本ハ之ヲ株式ニ分チ各株式
ノ金額ハ均一ナルコトヲ要シ二十圓ヲ下ルコトヲ得
ズ但シ一時ニ株金ノ全額ヲ拂込ム場合ニ於テハ十圓
ヲ以テ一株ノ金額トナスコトヲ得
第百十二條 各株主ノ責任ハ其ノ株式ノ拂込額ノ金額
ヲ以テ限度トス株主ハ其ノ會社ニ對シテ有スル債權
ヲ以テ株金ノ拂込ニ充ツルコトヲ得ズ
第百十三條 株式ガ數人ノ共有ナルトキハ共有者ハ株
主ノ權利ヲ行フベキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス株式
共有者ハ會社ニ對シテ連帶シテ株金ノ拂込ヲ爲スベキ
義務ヲ負フ
第百十四條 會社ハ設立ノ登記ヲ爲シタル後ニ非ザレ
バ株式ヲ發行スルコトヲ得ズ
前項ノ規定ニ違反シテ株式ヲ發行シタルトキハ其ノ
株券ハ無効トス但シ其ノ株式ノ所持者ハ株式ヲ發行

三四三

シタル者ニ對シテ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得
第百十五條 株券ニハ番號ヲ附シテ左記事項ヲ記載シ
取締役三人以上之ニ署名捺印スルコトヲ要ス
一 會社ノ名稱
二 設立登記ノ年月日
三 株式ノ數及一株ノ金額
四 株金ノ分割拂込ノ場合ニ於テハ毎期ニ於ケル分
割拂込ノ金額
記名株式ニシテ同一人ノ所有ニ屬スルトキハ同一ノ
姓名又ハ名稱ヲ記載スルコトヲ要ス
第百十六條 株式ハ設立ノ登記ヲ爲シタル後ニ非ザレ
バ之ヲ讓渡スルコトヲ得ズ
第百十七條 記名株式ノ讓渡ハ讓受人ノ姓名及住所ヲ
會社ノ株主名簿ニ記載シ且其ノ讓受人ノ姓名ヲ株券
ニ記載スルニ非ザレバ其ノ讓渡ヲ以テ會社及其ノ他
ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ
第百十八條 會社ハ無記名式ノ株券ヲ發行スルコトヲ
得但シ其ノ株數ハ株式總數ノ三分ノ一ヲ超ユルコト

ヲ得ズ
第百十九條 會社ハ自ラ其ノ株式ヲ買取シ又買權ノ目
的トシテ之ヲ收受スルコトヲ得ズ
第百二十條 會社ハ資本減少ノ規定ニ依ルニ非ザレバ
其ノ株式ヲ消却スルコトヲ得ズ
第百二十一條 會社ガ株金ノ拂込ヲ受ケルニハ毎回其
ノ一月前ニ各株主ニ對シテ各別ニ其ノ旨ヲ報告シ且
ニ一月以上ノ期間ヲ定メテ各別ニ催告置ニ公告シ且
其ノ期間ヲ過グルモ拂込ヲ爲サザルトキハ株主ノ權
利ヲ失フ
第百二十二條 株主ガ株金ノ拂込ヲ遲延シタルトキハ
利息ヲ加算シテ支拂フコトヲ要シ尙定款ニ違約金ヲ
定メタルトキハ會社ハ其ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得
第百二十三條 株主ガ其ノ權利ヲ失ヒタル場合ニ於テ
其ノ株式ガ他人ヨリ讓受ケタルモノナルトキハ其ノ
拂込ヲ爲スベキ株金額ニ付會社ハ一月以上ノ期間ヲ

定メ各讓渡人ニ對シテ株金ノ拂込ヲ催告スルコトヲ
得
讓渡人ガ前項ニ定ムル催告ヲ受ケタルトキハ最モ先
ニ株金ノ拂込ヲシタル者ニ於テ其ノ株式ヲ取得シ若
期間内ニ拂込ヲ爲ス者ナキトキハ會社ハ其ノ株式ヲ
競買スルコトヲ得
競買ニ依リテ得タル金額ガ拂込ヲ爲スベキ株金額ニ
達セザルトキハ從前ノ株主及讓渡人ニ對シテ順次其
ノ補償ヲ請求スルコトヲ得
第百二十四條 前條ニ定ムル讓渡人ノ責任ハ其ノ讓渡
ヲ株主名簿ニ記載シタル後二年ヲ經過シタルトキハ
消滅ス
第百二十五條 株金全額ノ拂込アリタル後ニ非ザレバ
會社ハ株主ノ請求ニ因リテ無記名式ノ株券ヲ發行ス
ルコトヲ得ズ
株券ガ無記名式ナルトキハ株主ハ何時ニテモ之ヲ記
名式ニ改ムルコトヲ請求スルコトヲ得
第百二十六條 株主名簿ニハ番號ヲ附シテ左ノ事項ヲ

記載スルコトヲ要ス
一 各株主ノ株式ノ數及株券ノ番號
二 各株主ノ姓名及住所
三 各株ニ付拂込ミタル株金額及拂込ノ年月日
四 各株式ノ取得ノ年月日
五 無記名式ノ株券ヲ發行シタルトキハ其ノ株數、
番號及發行ノ年月日
六 優先株ヲ發行シタルトキハ番號ノ下ニ「優先」
ノ文字
第三節 株主總會
第百二十七條 株主總會ハ左ノ二種ニ分ツ
一 通常總會ハ毎年少クトモ一回召集ス
二 臨時總會ハ必要ノ場合ニ之ヲ召集ス
第百二十八條 株主總會ハ取締役之ヲ召集ス
株主總會ノ決議ニ付テハ本法又ハ定款ニ別段ノ定ア
ル場合ヲ除ク外第百條第二項ノ規定ヲ準用ス
第百二十九條 各株主ハ一株ニ付一箇ノ表決權ヲ有シ
一人ノ株主ニシテ十一株以上ヲ有スル者ニ付テハ定

款ヲ以テ其ノ議決權ヲ制限スルコトヲ要ス
第百三十條 株主ハ代理人ニ委任シ株主總會ニ出席セ
シムルコトヲ得但シ委任狀ヲ差出スコトヲ要ス
第百三十一條 株主ニシテ會議ノ目的タル事項ニ付持
別ノ利害關係ヲ有スルトキハ其ノ議決ニ加ハルコト
ヲ得ズ他ノ株主ヲ代理シテ其ノ議決權ヲ行フトキ亦
同シ
第百三十二條 無記名式ノ株券ヲ有スル者ハ開會ノ日
ヨリ五日前ニ其ノ株券ヲ會社ニ交付スルニ非ザレバ
會議ニ出席スルコトヲ得ズ
第百三十三條 株式總數ノ二十分ノ一以上ヲ有スル株
主ハ提議事項及其ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ以テ取
締役ニ臨時總會ヲ召集ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ請求ヲ提出シタル後十五日内ニ取締役總會召
集ノ通知ヲ爲サザルトキハ株主ハ主管官署ノ許可ヲ
得テ自ら其ノ召集ヲ爲スコトヲ得
前項ノ請求アリタル後十五日内ニ取締役總會召集ノ
通知ヲ爲サザルトキハ株主ハ主管官署ノ許可ヲ得テ

自ラ其ノ召集ヲ爲スコトヲ得
第百三十四條 通常總會ノ召集ハ一月前ニテ各株主
ニ通知シ無記名式ノ株券ヲ有スル者ニ對シテハ四十
日前ニテ之ヲ公告スルコトヲ要ス
臨時總會ノ召集ハ十五日以前ニテ各株主ニ通知シ無
記名式ノ株券ヲ有スル者ニ對シテハ二十日前ニテ之
ヲ公告スルコトヲ要ス
通知及公告ニハ召集ノ理由及提議事項ヲ記載スルコ
トヲ要ス
第百三十五條 株主總會ノ決議事項ニ付テハ決議錄ヲ
作成シ議長之ニ署名捺印スルコトヲ要ス
決議錄ニハ會議ノ時日及場所、議長ノ姓名及決議ノ
方法ヲ明記スベシ決議錄ハ出席シタル株主ノ名簿ト
共ニ一括シテ之ヲ保存スルコトヲ要ス
第百三十六條 株主總會ハ取締役ノ調製シタル書類及
監査役ノ報告ヲ調査シ且利益及利息ノ配當ヲ決議ス
ルコトヲ得
前項ノ調査ヲ爲サシムル爲株主總會ハ検査役ヲ選任

スルコトヲ得
第百三十七條 株主總會ノ召集又ハ決議ガ法令又ハ定
款ニ違反シタルトキハ株主ハ決議ノ日ヨリ一月内ニ
裁判所ニ其ノ決議ノ無効ヲ宣告スベキコトヲ申請ス
ルコトヲ得
第四節 取締役
第百三十八條 會社ノ取締役ハ三人以上トシ株主總會
ニ於テ株主中ヨリ之ヲ選任ス
第百三十九條 取締役ハ就任ノ後定款ニ定メタル選
舉資格トシテ所有スベキ員數ノ株券ヲ監査役ニ供託
シ監査役ハ之ヲ會社ニ於テ保管スルコトヲ要ス
第百四十條 取締役ノ報酬ニ付定款ニ規定ナキトキハ
株主總會ニ於テ之ヲ議定スルコトヲ要ス
第百四十一條 取締役ノ任期ハ三年ヲ超ユルコトヲ得
ズ但シ重任スルコトヲ妨ゲズ
第百四十二條 取締役ハ何時ニモ株主總會ノ決議ヲ
以テ之ヲ解任スルコトヲ得但シ任期ノ定アル場合ニ
於テ正當ノ理由ナクシテ其ノ満了前解任セラレタル

トキハ取締役ハ會社ニ對シテ之ヲ爲ニ受ケタル損害
ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得
第百四十三條 取締役ノ員數總數ノ三分ノ一ニ達シ
タルトキハ直ニ臨時總會ヲ召集シテ之ヲ補選スルコ
トヲ要ス
取締役ノ員數ヲ補選スルニ到ラザル間ニ於テ必要ア
ルトキハ原選舉ニ於ケル次點者タリシ被選舉人ヲシ
テ其ノ職務ヲ代行セシムルコトヲ得
第百四十四條 原選舉ノ業務執行ハ定款ニ別段ノ規定
アル場合ヲ除ク外ハ其ノ過半數ノ決議ヲ以テ之ヲ行
フ支配人ノ選任及解任亦同シ
第百四十五條 會社ハ定款又ハ株主總會ノ決議ニ依リ
取締役中ノ一人又ハ數人ヲ特定シテ會社ヲ代表セシ
ムルコトヲ得
第二十八條第三十一條乃至第三十三條ノ規定ハ取締
役ニ之ヲ準用ス
第百四十六條 取締役ハ定款、從來ノ株主總會ノ決議
錄、貸借對照表及損益計算書ヲ本店及支店ニ備置キ

且株主名簿及社債原簿ヲ本店ニ備置クコトヲ要ス株
主及會社ノ債權者ハ何時ニテモ前項ニ定ムル定款其
ノ他ノ書類ノ査閱ヲ請求スルコトヲ得
第百四十七條 會社ガ資本總額三分ノ一ニ達スル缺損
ヲ生ジタルトキハ取締役ハ直ニ株主總會ヲ召集シテ
之ヲ報告スルコトヲ要ス會社ノ財産ガ其ノ債務ヲ完
済スルニ足ザルコト顯カトナリタルトキハ取締役ハ
直ニ破産ノ宣告ヲ申請スルコトヲ要ス
第百四十八條 取締役ノ業務執行ハ定款及株主總會ノ
決議ニ從フコトヲ要ス
取締役ガ前項ノ規定ニ違反シテ會社ニ損害ヲ及ボシ
タルトキハ會社ニ對シテ之ガ賠償ヲ爲スベキ責ヲ負
フ
第百四十九條 株主總會ニ於テ取締役ニ對シテ訴訟ヲ
提起スルコトヲ決議シタルトキハ會社ハ決議ノ日ヨ
リ一月内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス
第百五十條 株式總數ノ十分ノ一以上ヲ有スル株主ハ
會社ノ爲ニ取締役ニ對シテ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ監査役ノ申請ニ因リ起訴
シタル株主ニ對シテ相當ナル擔保ノ提供ヲ命ズルコ
トヲ得
敗訴ニ因リテ會社ニ損害ヲ及ボシタルトキハ起訴シ
タル株主ハ會社ニ對シテ之ガ賠償ヲ爲スベキ責ヲ負
フ
第百五十一條 會社ト取締役トノ間ニ於ケル訴訟ニ付
テハ法律ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外監査役ニ於テ
會社ヲ代表ス但株主總會ハ別ニ會社ヲ代表シテ訴訟
ヲ爲スベキ者ヲ選ブコトヲ得
第五節 監査役
第百五十二條 監査役ハ株主總會ニ於テ株主中ヨリ之
ヲ選任ス
第百五十三條 監査役ノ報酬ニ付定款ニ規定ナキトキ
ハ株主總會ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ要ス
第百五十四條 監査役ノ任期ハ一年トス但シ重任スル
コトヲ妨ケズ
第百五十五條 第四百二十二條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準

用ス
第百五十六條 監査役ハ何時ニテモ會社財産ノ狀況ヲ
調査シ帳簿其ノ他ノ書類ヲ検査シ取締役ニ對シテ會
社ノ業務ノ狀況ニ關スル報告ヲ求ムルコトヲ得
第百五十七條 監査役ハ取締役ガ作成シテ株主總會ニ
提出セントスル各種ノ書類、帳簿ニ付其ノ他ノ文書
ト對照檢分シ實況ヲ調査シテ其ノ意見ヲ株主總會ニ
報告スルコトヲ要ス
第百五十八條 監査役ハ前二條ニ定メタル事務ニ付會
社ヲ代表シテ計理士又ハ辯護士ニ委託シテ之ヲ辦理
セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ費用ハ會社ノ
負擔トス
第百五十九條 監査役ハ必要ト認ムルトキハ株主總會
ヲ召集スルコトヲ得
第百六十條 監査役ハ各自單獨ニ監査權ヲ行フコトヲ
得
第百六十一條 監査役ハ會社ノ取締役又ハ支配人ヲ兼
任スルコトヲ得ズ

第百六十二條 取締役ガ自己又ハ他人ノ爲ニ會社ト取
引ヲ爲ス場合ニハ監査役ニ於テ會社ヲ代表ス
第百六十三條 監査役ガ其ノ職務ヲ盡サザルニ因リテ
會社ニ損害ヲ及ボシタルトキハ會社ニ對シテ之ガ賠
償ヲ爲スベキ責ヲ負フ
第百六十四條 株主總會ニ於テ監査役ニ對シテ訴訟ヲ
提起スルコトヲ決議シタルトキハ會社ハ決議ノ日ヨ
リ一月内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス
前項ノ訴訟ニ於ケル代表者ハ株主總會ニ於テ取締役
以外ノ者ヲ選任スルコトヲ得
第百六十五條 株式總數ノ十分ノ一以上ヲ有スル株主
ハ會社ノ爲ニ監査役ニ對シテ訴訟ヲ提起スルコトヲ
得
前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ取締役ノ申請ニ因リ起訴
シタル株主ニ對シテ相當ナル擔保ノ提供ヲ命ズルコ
トヲ得
敗訴ニ因リテ會社ニ損害ヲ及ボシタルトキハ起訴シ
タル株主ハ會社ニ對シテ之ガ賠償ヲ爲スベキ責ヲ負

第六節 會 計

第百六十六條 取締役ハ毎營業年度ノ終ニ於テ左記ノ書類ヲ編製シ定時總會ノ開會三十日前ニ之ヲ監査役ニ提出シテ其ノ調査ヲ經ルコトヲ要ス

一 營業報告書

二 貸借對照表

三 財産目録

四 損益計算書

五 積立金及利息又ハ利益ノ配當ニ關スル議案

監査役ハ取締役ガ前項ノ書類ヲ提出セザル以前ニ於テモ其ノ受附ヲ請求シテ之ヲ調査スルコトヲ得

第百六十七條 取締役ノ編製シタル各種ノ書類ハ監査役ノ報告書ト共ニ定時總會ノ開會十日前ニ會社ノ本店ニ備置クコトヲ要シ株主ハ何時ニテモ之ヲ査閱スルコトヲ得

第百六十八條 取締役ハ其ノ編製シタル各種ノ書類ヲ株主總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

承認ヲ得タル後取締役ハ貸借對照表、損益計算書及積立金其ノ他利息又ハ利益ノ配當ニ關スル決議ヲ公告スルコトヲ要ス

第百六十九條 株主總會ニ於テ各項ノ書類ヲ承認シタルキハ會社ハ之ニ依リテ取締役及監査役ノ責任ヲ解除シタルモノト看做ス但シ取締役又ハ監査役ニ不正ノ行為アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百七十條 會社ガ利益ノ分配ヲ爲スベキハ其ノ十分ノ一ヲ控除シテ積立金ト爲スコトヲ要ス但シ積立金ガ既ニ資本總額ノ二分ノ一ニ達シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

券面額以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ發行シタル場合ニ於ケル超過額ハ其ノ全額ヲ積立金ト爲スコトヲ要ス

第百七十一條 會社ハ損失ヲ填補シ且前條ニ定ムル積立金ヲ控除シタル後ニ非ザレバ利息又ハ利益ヲ配當スルコトヲ得ズ會社ニ於テ利益ナカリシトキ亦同シ但シ積立金ガ既ニ資本總額ノ二分ノ一ヲ超過セルトキ若ハ利益ヨリ控除シタル積立金ガ其ノ利益ノ十分

三五〇

ノ一ヲ超過シタルトキハ會社ハ株式ノ價格ヲ維持スル爲メノ超過額ヲ以テ利息ノ配當ニ充ツルコトヲ得

第百七十二條 前條ノ規定ニ違反シテ利息又ハ利益ヲ配當シタルトキハ會社ノ債權者ハ其ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第百七十三條 會社ハ其ノ營業ノ性質ニ依リ設立登記ノ時ヨリ二年以上ノ準備ヲ爲シタル後ニ營業ヲ開始スルコトヲ得ベキ場合ニ於テハ主管官署ノ許可ヲ得テ定款ヲ以テ營業開始前株主ニ對シテ利息ヲ配當スベキコトヲ定ムルコトヲ得

前項ニ定ムル利息ノ定率ハ年額五分ヲ超ユルコトヲ得ズ

第百七十四條 利息又ハ利益ノ配當ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外拂込アリタル株金額ノ多寡ヲ以テ標準トス

第百七十五條 株式總數ノ二十分ノ一以上ヲ有スル株主ハ裁判所ニ對シ検査役ヲ選任シテ會社ノ業務及財産狀況ヲ検査スベキコトヲ申請スルコトヲ得

法院ハ検査役ノ報告ヲ受ケタル後必要ト認ムルトキハ監査役ニ株主總會ノ召集ヲ命ズルコトヲ得

第七節 社 債

第百七十六條 會社ハ第八十六條ノ規定ニ依リ決議ヲ爲シタル後ニ非ザレバ社債ヲ募集スルコトヲ得ズ

第百七十七條 社債ノ總額ハ拂込済ノ株金ノ總額ヲ超ユルコトヲ得ズ會社ノ現存財産額ガ拂込済金ノ總額ヨリ少ナキ場合ニ於テハ其ノ財産額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第百七十八條 各社債ノ金額ハ二十元ヲ超ルコトヲ得ズ

第百七十九條 社債ノ償還金額ガ券面額ヲ超ユルコトヲ決定シタルトキハ其ノ超過率ハ同時ニ發行シタル各社債ニ付同一ナルコトヲ要ス

第百八十條 社債ヲ募集セントスルトキハ取締役ハ左記事項ヲ公告スルコトヲ要ス

一 會社ノ名稱

二 社債ノ總額及各社債ノ金額

三五二

三 社債ノ利率
四 社債償還ノ方法及期限
五 以前ニ社債ヲ募集シタルトキハ其ノ償還了レハ
ザル總額
六 社債發行ノ價額又ハ其ノ最低價額
七 會社ノ資本及拂込ミタル株金ノ總額
八 會社ノ現存財産ノ總額
九 社債ノ募集完了ニ關スル豫定期間並其ノ期間ヲ
超ヘタルトキハ社債應募者ハ其ノ申込ミテ取消ス
コトヲ得ベキ旨ノ表明
取締役ハ聯單式ノ社債申込證ヲ作り前項ニ掲ゲタル
事項ヲ記載シ社債應募者ハ之ニ其ノ引受クベキ社債
ノ數及其ノ住所ヲ記入シテ署名捺印スルコトヲ要ス
第百八十一條 社債ノ募集ガ完了シタルトキハ取締役
ハ各社債應募者ニ對シテ引受ケタル社債ノ金額ノ拂
込ミテ請求スルコトヲ要ス
取締役ハ社債ノ全額ノ拂込ミテ受ケタルトキハ十五
日內ニ主管官署ニ前條第一項第二號乃至第四號ニ掲

ゲタル事項及社債發行ノ年月日ノ登記ヲ申請スルコ
トヲ要ス
第百八十二條 社債券ニハ番號ヲ附シテ發行ノ年月日
及第百八十條第一項第一號乃至第四號ニ掲ゲタル事
項ヲ記載シ取締役之署名捺印スルコトヲ要ス
第百八十三條 社債原簿ニハ各社債券ノ番號順ニ從ヒ
其ノ番號及左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス
一 社債券者ノ姓名及住所
二 第百十條第一項第二號乃至第四號ニ掲ゲタル事
項
三 社債發行ノ年月日
四 各社債券取得ノ年月日
第百八十四條 記名式ノ社債ノ譲渡ハ譲受人ノ姓名及
住所ヲ社債原簿ニ記載シ且其ノ姓名ヲ社債券ニ記載
スルニ非ザレバ之ヲ以テ會社及其他ノ第三者ニ對
抗スルコトヲ得ズ
第百八十五條 社債權者ハ何時ニテモ其ノ無記名式ノ
社債券ヲ記名式ニ改ムルコトヲ請求スルコトヲ得

三五二

第八節 定款ノ變更
第百八十六條 會社ハ株主總會ノ決議ニ依ルニ非ザレ
バ定款ヲ變更シ又ハ資本ヲ増減スルコトヲ得ズ
前項ノ決議ハ總株主ノ過半数ニシテ且株式總數ノ過
半数ヲ代表スル株主ガ出席シ其ノ出席シタル株主ノ
議決權ノ三分ノ二以上ノ同意ニ依リテ之ヲ行フ
出席シタル株主ガ前項ニ定メタル定數ニ達セザルト
キハ出席シタル株主ノ議決權ノ過半数ヲ以テ假決議
ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ各株主ニ其ノ假決
議ヲ通知シ且無記名式ノ株券ヲ發行シタルトキハ併
セテ其ノ假決議ヲ公告シテ一箇月內ニ更ニ第二回ノ
株主總會ヲ召集ス其ノ決議ハ出席シタル株主ノ議決
權ノ過半数ヲ以テ之ヲ行フ
第百八十七條 會社ハ株金全額ノ拂込ミアリタル後ニ
非ザレバ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得ズ但シ維新政
府實業部ニ申請シ其ノ許可ヲ經タルトキハ此ノ限ニ
在ラズ
第百八十八條 會社ハ資本ヲ増加シ又ハ債務ヲ整理セ

ントスルトキハ優先株ヲ發行スルコトヲ得但シ定款
中ニ優先株主ニ與フベキ權利ノ種類ヲ記載スルコト
ヲ要ス
第百八十九條 會社ガ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ
定款ノ變更ガ優先株主ノ權利ニ損害ヲ及ボスベキト
キハ株主總會ノ決議ノ外更ニ優先株主總會ノ決議ヲ
經ルコトヲ要ス
優先株主ノ總會ニハ株主總會ニ關スル規定ヲ準用ス
第百九十條 會社ガ新株ヲ募集スルトキハ先ヅ舊株主
ヲシテ其ノ引受ヲ爲サシムルコトヲ要シ副餘アルトキ
始メテ別ニ株主ヲ募集スルコトヲ得
第百九十一條 會社ガ其ノ資本ヲ増加スル場合ニ於テ
金錢以外ノ財産ヲ以テ株金ノ拂込ミニ充ツ者アルト
キハ其ノ財産ノ種類價格及之ニ對シ會社ガ與フル株
式ノ數ヲ資本ノ増加ノ決議ト同時ニ之ヲ議決スルコ
トヲ要ス
第百九十二條 會社ガ新株ヲ募集セントスルトキハ取
締役ハ聯單式ノ株式申込證ヲ作りテ左記事項ヲ記載

三五三

シ株式申込人ハ之ニ其ノ引受クベキ株式ノ數金額及
其ノ住所ヲ記入シテ署名捺印スルコトヲ要ス
一 第八十八條第一號乃至第六號、第八十九條及第
九十一條第一號ニ掲ゲタル事項
二、資本増加ノ決議ノ年月日
三、増加スベキ資本ノ總額及各株ノ金額
四、第一回拂込ミノ株金額
五、優先株式發行スルトキハ其ノ種類及各種ノ優先
株ノ數
同時ニ數種ノ優先株式發行スル場合ニハ株式申込人
ハ株式申込證ニ其ノ引受クベキ株式ノ種類及其ノ數
種ヲ記入スルコトヲ要ス
第百九十三條 會社ガ資本ヲ増加シタル場合ニ於テ第
一回ノ拂込金額全額ヲ受取りタルトキハ取締役ハ直
チニ株主總會ヲ召集シテ之ニ新株ノ募集ニ關スル事
項ヲ報告スルコトヲ要ス
第百九十四條 監査役ハ左ニ掲ゲタル事項ヲ調査シテ
之ヲ株主總會ニ報告スルコトヲ要ス

三五四
一 新株總數ノ引受アリタルヤ否ヤ
二 各新株ニ付第一回ノ拂込アリタルヤ否ヤ
三 金錢以外ノ財産ヲ以テ株金ノ拂込ニ充テタル者
アル場合ニ於テ之ニ對シ與ヘタル株式ノ數ガ正當
ナリヤ否ヤ
前項ノ調査及報告ヲ爲サシムル爲メ株主總會ハ別ニ檢
査役ヲ選任スルコトヲ得
第百九十五條 取締役ハ第百九十三條ニ定ムル株主總
會ノ終結後十五日内ニ主管官署ニ左ノ事項ノ登記ヲ
申請スルコトヲ得
一 増加シタル資本ノ總額
二 資本増加ノ決議ノ年月日
三 各新株ニ付拂込ミタル株金額
四 優先株式發行シタルトキハ其ノ優先株主ノ有ス
ベキ權利ノ種類、各種ノ優先株ノ總額及其ノ一
ノ金額
登記前ニ於テハ新株券ノ發行又ハ新株式ノ讓渡ヲ爲
スルコトヲ得ズ

第百九十六條 會社ガ新株ヲ募集シテ發行スル新株券
ニハ番號ヲ附シ株數及左記事項ヲ記載シ取締役三人
之ニ署名捺印スルコトヲ要ス
一 會社ノ名稱
二 資本増加ノ登記ヲ爲シタル年月日
三 増加シタル株式ノ總額及各株ノ金額
四 優先株式發行シタルトキハ其ノ種類及權利
五 増加シタル株式ノ株金ヲ先括シテ拂込ムベキ場
合ニ於テハ每期ニ於ケル拂込金額
第百九十七條 第九十五條乃至第九十八條及第百十一
條乃至第百十三條ノ規定ハ新株募集ノ場合ニ之ヲ準
用ス
第百九十八條 會社ガ資本減少ニ因リ新株券ヲ引換ニ
交付スベキ場合ニ於テハ資本減少ノ登記ノ後六月以
上ノ期間ヲ定メテ各株主ニ對シ引換ヲ爲スベキ旨ヲ
通告シ且其ノ期間ヲ過グルモ引換ヲ爲サザルトキハ
株主ノ權利ヲ失フベキ旨ヲ通知スルコトヲ要ス
株主ガ前項ノ期間ニ引換ヲ爲サザルトキハ之ニ因リ

三五五
テ株主ノ權利ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ會社ハ其ノ株
式ヲ賣買シテ其ノ賣得金ヲ其ノ株主ニ償還スルコト
ヲ得
第百九十九條 資本減少ノ爲ニ株式ヲ併合スベキ場合
ニ於テ併合ニ適セザル株式アルトキハ前條第二項ノ
規定ヲ準用ス
第二百條 第四十八條及第四十九條ノ規定ハ資本減
少ノ場合ニ之ヲ準用ス
第九節 解 散
第二百一條 株式會社ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス
一 定款ニ定メタル解散事由ノ發生
二 會社ノ營業ノ成就又ハ成就ノ不能
三 株主總會ノ決議
四 記名式ノ株券ヲ有スル株主ガ七人未滿トナリタ
ルトキ
五 他ノ會社トノ合併
六 破 産
七 解散ノ命令

第二百二條 會社が解散シタルトキハ破産ノ場合ヲ除クノ外取締役ハ直ニ其ノ旨ヲ各株主ニ通知シ且無記名式ノ株券ヲ發行セル場合ニ於テハ之ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百三條 株主總會ガ會社ノ解散又ハ他ノ會社トノ合併ノ決議ヲ爲スニハ第百八十六條第二項ノ規定ヲ準用ス

第二百四條 合併ノ爲ニ解散スル會社ニ就テハ第四十八條乃至第五十一條ノ規定ヲ準用ス

第十節 清算

第二百五條 會社が解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外取締役ヲ以テ清算人ト爲ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキニハ株主總會ニ於テ別ニ清算人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リテ清算人ヲ定ムルコト能ハザルトキハ法院ハ利害關係人ノ申請ニ依リテ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第二百六條 清算人ハ裁判所ニ於テ選任シタル者ヲ除

三五六

規定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二百七條 清算人ハ清算事務ノ執行ノ範圍内ニ於テハ本節ニ規定スルモノヲ除クノ外其ノ權利義務ハ取締役ニ同ジ

第二百八條 清算人ノ報酬ハ裁判所ノ選任ニ依ル者ヲ除クノ外株主總會ニ於テ之ヲ決定シ其ノ裁判所ノ選任シタル者ニ就テハ法院ニ於テ之ヲ決定ス

清算費用及清算人ノ報酬ハ會社ノ現存財産中ヨリ優先シテ支拂フコトヲ要ス

第二百九條 清算人ハ就任ノ後直ニ會社財産ノ狀況ヲ検査シ貸借對照表及財産目録ヲ編製シ株主總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百十條 債務ヲ完済シテ殘餘財産アルトキハ各株主ノ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應ジテ之ヲ分配スルコトヲ要ス但シ會社が優先株ヲ發行シ定款ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二百十一條 清算ガ終了シタルトキハ清算人ハ十五日以内ニ清算期間内ニ於ケル收支計算書及損益計算表ヲ編製シテ一切ノ帳簿ト共ニ之ヲ株主總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

株主總會ハ別ニ検査役ヲ選任シテ前項ノ書類及帳簿ノ正當ナルヤ否ヤヲ検査セシムルコトヲ得

株主總會ガ書類及帳簿ヲ承認シタルトキハ會社ハ之ニ依リテ清算人ノ責任ヲ解除シタルモノト看做ス但シ清算人ニ不正ノ行爲アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二百十二條 會社ノ一切ノ帳簿及書類ハ清算終了ノ登記ノ後十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス其ノ保存人ハ清算人又ハ其ノ他ノ利害關係人ノ申請ニ依リテ裁判所ニ之ヲ定ム

第二百十三條 清算終了ノ後尙分配スベキ財産アルトキハ法院ハ利害關係人ノ申請ニ依リテ清算人ヲ選任シテ更ニ其ノ分配ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百十四條 第五十二條、第五十七條、第五十八條、第六十條乃至第六十四條及第六十七條ノ規定ハ株式會社ノ清算ニ之ヲ準用ス

第五章 株式合資會社

第二百十五條 株式合資會社ノ社員ニ一人以上ノ無限責任ヲ負フ者アルコトヲ要ス

第二百十六條 株式合資會社ニハ左ノ事項ニ關シ合資會社ノ規定ヲ準用ス

一 無限責任社員ノ對内關係

二 無限責任社員ノ對外關係

三 無限責任社員ノ退社

其ノ他ノ事項ニ就テハ本章ニ規定アルモノヲ除クノ外株式會社ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百十七條 株式合資會社ノ設立ニハ無限責任社員ガ發起人ト爲リテ定款ヲ作成シ左記事項ヲ記載シテ署名捺印スルコトヲ要ス

一 第八十八條第一號乃至第五號ノ事項

三五七

二 無限責任社員ノ姓名及住所
三 無限責任社員ノ株金以外ノ出資、其ノ種類及價
格又ハ評價ノ標準
第二百十八條 無限責任社員ハ株式募集ノ責ヲ負フ
第二百十九條 株式申込證ニハ左ノ事項ヲ記載スルコ
トヲ要ス
一 第八十九條、第九十四條第一項第一號、條二
號、第四號、第五號及第二百十七條ニ掲ゲタル事項
二 無限責任社員ガ株式ヲ引受ケタルトキハ其ノ株
式ノ數
第二百二十條 創立總會ハ株主中ヨリ監査役ヲ選任ス
ルコトヲ要ス無限責任社員ハ監査役タルコトヲ得ズ
第二百二十一條 無限責任社員ハ創立總會及株主總會
ニ於テ意見ヲ述アルコトヲ得但シ株式ヲ有スルトキ
ト雖モ議決權ヲ有セス
第二百二十二條 監査役ハ第三百三條第一項及第二百十
七條第三號ニ掲ゲタル事項ヲ調査シテ創立總會ニ報
告スルコトヲ要ス

三五八

第二百二十三條 會社ハ創立總會ノ終結後十五日内ニ
主管官署ニ左ノ事項ヲ登記ヲ申請スルコトヲ要ス
一 第八十八條第一號乃至第三號、第五號、第九十
條第二號、第四號、第九十七條第二號及第三號ニ掲
ゲタル事項
二 會社ヲ代表スベキ無限責任社員ヲ定メタルトキ
ハ其ノ姓名及住所
三 監査役ノ姓名及住所
第二百二十四條 會社ヲ代表スベキ無限責任社員ニハ
第三百三十八條乃至第四百十二條ノ規定ヲ除ク外株式
會社ノ取締役ニ關スル規定ヲ準用ス
第二百二十五條 合資會社ニ於テ株主ノ同意ヲ要ス
ル事項ニ就テハ株式合資會社ニ在リテハ株主總會ノ
決議ノ外無限責任社員ノ同意アルヲ要ス
前項ノ決議ニ就テハ第三百八十六條第二項及第三項ノ
規定ヲ準用ス
第二百二十六條 合資會社ノ解散ノ事由ニ關スル規定
ハ株式合資會社ニ之ヲ準用ス

至第五十一條ノ規定ヲ準用ス

第六章 罰 則

第二百三十一條 會社ノ業務ヲ執行スル社員、發起
人、取締役、監査役又ハ清算人ニ左記事由ノ一アル
トキハ五百元以下ノ罰金ニ處ス
一 本法ニ規定スル報告又ハ登記ノ申請ヲ爲スベキ
期間ニ關スル規定ニ違反シタルトキ
二 本法ニ規定スル公告又ハ通知ヲ爲スベキ期間ニ
關スル規定ニ違反シタルトキ
三 本法ノ規定ニ依リテ調査スベキ帳簿又ハ書類
ノ査閲ヲ正當ノ理由ナクシテ拒絶シタルトキ
四 本法ノ規定ニ依リテ爲スベキ調査ニ對シ妨礙ノ
行爲アリタルトキ
五 第九十四條第一項、第九十二條第一項及第二
百十九條ノ規定ニ違反シテ株式申込證ヲ作成セズ
又ハ之ニ不實ノ記載ヲ爲シタルトキ
六 第四百十四條第一項及第九十五條第二項ノ規定

三五九

ニ違反シテ株券ヲ發行シタルトキ
 七 第百十五條、第百八十二條及第百九十六條ノ規定ニ違反シテ株券又ハ社債券ニ不實ノ記載ヲ爲シタルトキ
 八 會社ノ定款、株主總會ノ決議録、株主名簿、債權原簿營業報告書、貸借對照表、財産目錄、損益計算書及利息又ハ利益ノ配當積立金ノ控除ニ關スル議案ヲ本店ニ備置カズ又ハ之ニ不實ノ記載ヲ爲シタルトキ
 第百三十二條 會社ノ業務ヲ執行スル社員發起人、取締役、監査役又ハ清算人ニ左ノ事申ノ一アルトキ
 一 第百四十七條第一項第百七十五條第二項ノ規定ニ違反シテ株主總會ヲ召集セザルトキ
 二 官署又ハ總會ニ對シテ不實ノ陳述又ハ報告ヲ爲シタルトキ
 三 第百四十八條及第百四十九條ノ規定ニ違反シテ他ノ會社ト合併シタルトキ
 四 本法ノ規定ニ依リテ行フ検査ニ對シ妨礙ノ行爲アリタルトキ
 五 第百二十條ノ規定ニ違反シテ株式ヲ消却シタルトキ
 六 第百二十五條第一項ノ規定ニ違反シテ無記名式ノ株券ヲ發行シタルトキ
 七 第六十三條第一項及百四十七條第二項ノ規定ニ違反シテ直ニ破産宣告ノ申請ヲ爲サザルトキ
 八 第百七十條第一項ノ規定ニ依リ積立金ノ控除ヲ爲サザルトキ
 九 第六十四條ノ規定ニ違反シテ會社ノ財産ヲ分配シタルトキ
 十 會社ガ命令ニ依リテ解散シタル場合ニ於テ清算人ニ事務ノ引渡ヲ爲サザルトキ
 第百三十三條 會社ノ業務ヲ執行スル社員、發起人、取締役、監査役又ハ検査人ニ左ノ事由ノ一アルトキハ一年以下ノ徒刑又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス
 一 設立ノ登記又ハ増資ノ登記ヲ申請スル場合ニ於

テ株式總數、引受又ハ株金拂込ノ總額ニ關シテ不實ノ陳述ヲ爲シタルトキ
 二 名義ノ如何ヲ問ハズ會社ノ爲ニ其ノ株式ヲ買取シ又ハ買權ノ目的トシテ之ヲ收受シタルトキ
 三 本法ノ規定ニ違反シテ利息又ハ利益ヲ配當シタルトキ
 四 定款ニ定メタル會社ノ營業範圍外ニ於テ會社ノ財産ヲ利用シ投機取引ヲ爲シタルトキ

上海總商會試辦章程

民國二十七年十二月十五日

第一章 總則

- 第一條 上海總商會(以下總商會ト略稱ス)ハ上海商業及對外貿易ノ發展ヲ計リ商工業者ノ共同ノ福利ヲ増進スルヲ以テ宗旨トス
- 第二條 總商會ハ法人トス
- 第三條 總商會ノ職務左ノ如シ
 - 一 上海商工業ノ改善及發展ノ計畫
 - 二 上海商工業ニ關スル照會及通報
 - 三 上海商工業ニ關スル調停及仲裁
 - 四 上海商工業ニ關スル統計及編纂
 - 五 上海商工業ニ關スル證明及鑑定
 - 六 國際貿易紹介及指導
 - 七 市面ノ恐慌、金融ノ混亂、貨物運送ノ杜絶等ノコト在リタルトキハ自ら之ヲ維持シ及主管官廳ニ

三六二

- 申請シテ手段ヲ講ジテ維持スルノ責任
- 八 商品陳列所、商品展覽會及上海商工業ニ關スル各種公共事業ノ創設事項
- 但シ事前ニ主管官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス
- 九 法令ニ依リ商會ノ處理スヘキ事項
- 十 行政司法官廳ノ委託又ハ諮問
- 十一 上海市同業組合ノ組織ノ指導
- 十二 上海市同業組合ノ事業規定及其ノ豫算決算ノ考査

- 第十四條 總商會ハ上海商工業ニ關スル事項ニ就キテ隨時主管官廳ニ建議スルコトヲ得

第二章 組織

- 第十五條 上海總商會ハ上海特別市市政府ノ管轄區域ヲ以テ區域トシ上海第一特別區、第二特別區及各分區ヲ包括ス
- 各區公署所在地及繁盛ナル地ニ分會ヲ設ケ總商會ヨリ職會ヲ派シテ之ヲ主持セシムルコトヲ得

第六條 第五條ニ規定シタル區域内ノ同業組合ハ

- 總商會ニ加入スルコトヲ要ス
- 未ダ同業組合ヲ組織セザル各業者又ハ組織スルモ未ダ完備セザルトキハ總商會ハ之ヲ指導シテ組織又ハ改組セシムベシ

第七條 前記ノ同業組合ガ總商會ニ加入シタル後

- ハ其ノ名稱ニ上海總商會ノ文字ヲ冠スルコトヲ要ス
- 第八條 總商會ハ理事會ニ於テ定款ヲ制定シ會員大會ノ決議ヲ經テ主管官廳ニ申請シテ備案スベシ定款ニハ左記事項ヲ記載スルコトヲ要ス
 - 一 總商會及分會ノ事務所ノ所在地及其ノ位置
 - 二 各同業公會ノ名稱及責任者ノ氏名
 - 三 會員ノ入會、退會及除名ニ關スル規定
 - 四 總商會又ハ分會事務ヲ處理スル職員ノ定員、權限及其ノ解任、選任ニ關スル規定
 - 五 常會、臨時會ノ召集ニ關スル規定
 - 六 總商會ノ經常費及特別費ニ關スル規定
 - 七 同業組合及各區、分會ノ經常費及特別費ニ關

スル規定

- 第九條 同業組合ハ其ノ事務ノ繁簡ニ依リ適當總事務所ノ外ニ分事務所ヲ増設スルコトヲ得、但シ事前ニ總商會ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第三章 會員

- 第十條 總商會會員ヲ左記四種ニ分ツ
 - 一 組合團體會員ハ同業組合ヲ以テ之ニ充ツ
 - 二 商店會員ハ商店ヲ以テ之ニ充ツ
 - 三 工廠會員工廠ヲ以テ之ニ充ツ
 - 四 個人會員ハ個人ヲ以テ之ニ充ツ
- 前記第一號乃至第三號ノ會員ハ代表一名ヲ選任シ商會ニ出席シ會員代表タルコトヲ得
- 第十一條 總商會個人會員及會員代表ハ總商會ノ區域内ニ在リテ商工業ヲ經營スル中華民國國籍者ニシテ年齡二十五歲以上ノ者ニ限ル
- 第十二條 團體會員ノ代表者ハ同業公會ニ於テ選定シ即時總商會ニ報告スベシ

三六三

商業法人、又ハ個人商店及工廠ハ同業公會ヲ組織スルコトヲ得ズ其ノ使用人三十人以上ノモノニシテ總商會加入ヲ請求スルトキハ之ヲ第二項又第二項會員トナスコトヲ得其ノ代表有ノ選定ハ法人、商店或ハ工廠ニ於テ之ヲ行ヒ即時總商會ニ報告スルコトヲ要ス本條例第十條第四號ノ會員ハ會員代表二人以上ノ紹介アルコトヲ要シ總商會董事會ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ入會スルコトヲ得ズ

第十三條 各區區分會ノ責任執行者ハ總商會ニ於テ個人會員及會員代表中ヨリ之ヲ選任ス

第十四條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ第十條ニ規定スル個人會員又ハ會員代表ノ資格ヲ取得スルコトヲ得ズ

一 公權ヲ褫奪セラレタル者

二 破産ノ宣告ヲ受ケ未ダ復權セズ又ハ其ノ管理スル商店ヲ破産ノ宣告ヲ受ケ未ダ債務ヲ完済セザル者

三 無能力ナル者

四 現政府ニ對シ反執行爲アリタル者

第十五條 個人會員及會員代表ハ均シク表決權、選舉權及被選舉權ヲ有ス

第十六條 會員代表ハ原選定會員ニ於テ隨時之ヲ更迭スルコトヲ得、但シ既ニ總商會職員ニ當選シタル者ハ法令ニ依リ解任セラレベキ事由アルニ非ザレバ之ヲ更迭スルコトヲ得ズ

第十七條 會員代表ニシテ國籍ヲ喪失シ又ハ第十四條ニ掲グル各號事由在リタルトキハ原選定會員ニ於テ之ヲ更迭スベシ

第十八條 個人會員又ハ會員代表ニシテ不正行爲ニ因リ商會ノ名譽、信用ヲ妨害スルニ至リタルトキハ會員大會ノ決議ヲ以テ之ヲ除名スルコトヲ得除名者ガ會員代表ナルトキハ原選定會員ニ通知スベシ

除名處分ヲ受ケタル會員代表及個人會員ハ除名ノ日ヨリ三年以内會員代表又ハ個人會員ニ充任スルコト

第四章 職員

第十九條 總商會ノ董事及監察ハ會員大會ニ於テ個人會員及會員代表中ヨリ之ヲ選任シ董事二十一人、監察七人以内トス前項ノ董事ハ常務董事五人ヲ互選スルコトヲ得常務董事ハ一人ヲ互選シテ會長ト爲ス

會長事故アルトキハ首席常務董事之ヲ代理ス

第二十條 董事及監察ノ任期ハ三年トシ重任ヲ妨グズ

第二十一條 董事及監察ハ就任後十五日以内ニ主管官廳ニ報告スベシ

第二十二條 董事及監察ハ名譽職トス但シ常務董事及會長ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條 董事及監察ニ左記各號事由ノ一アリタルトキハ直チニ解任スベシ

一 已ムテ得ザル事故ニ因リ會員大會ノ議決ヲ經テ

其ノ退職ヲ認許シタルトキ

二 職務ヲ放棄シ會員大會ノ決議ヲ經テ之ヲ退職セシムルトキ

三 職務上法令ニ違反シテ私利ヲ營ミ又ハ其ノ他重大ナル不正行爲アリ會員大會ノ決議ヲ經テ之ヲ退職セシメ又ハ主管官廳ニ於テ退職セシムルトキ

四 第十四條ノ各號事由ノ一在リタルトキ

第二十四條 總商會及分會ハ事務員ヲ置キ事務ノ繁簡ニ依リ係分チテ事務ヲ處理スルコトヲ得

第五章 會議

第二十五條 會員大會ヲ定期會議及臨時會議二種ニ分チ董事會ヲ召集ス

第二十六條 前條ノ定期會議ハ毎年最少一回開會ス臨時會議ハ董事會ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ十分ノ以上ノ個人會員及會員代表又ハ監察會ノ召集請求ニ依リ之ヲ召集ス

第二十七條 會員大會ヲ召集セントスルトキハ十五日

前ニ書面ヲ以テ之ヲ通知シ玆ニ議案及次第書ヲ附ス
ベシ

但シ緊急事ニ因リ臨時會議ヲ召集スルトキハ此ノ限
ニ在ラズ

第二十八條 會員大會ノ決議ハ多數決方法ニ依リテ之
ヲ行フ

第二十九條 左記各號ノ決議ハ出席代表及個人會員ノ
三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

一 定款ノ變更

二 會員又ハ會員代表ノ除名

三 職員ノ退職

四 清算人ノ選任及清算事務ニ關スル決議

第三十條 董事會ハ毎月二回以上開會シ監察會ハ每
月一回以上開會ス

第六章 經費及會計

第三十一條 總商會經費ヲ左記ノ二種ニ分ツ
一 事務費 會員ニ於テ之ヲ負擔シ其ノ資本額ニ應

三六六

シテ之ヲ負擔スモルトス

二 事業費 董事會ニ於テ之ヲ調達ス

第三十二條 總商會及分會經費ノ豫算決算並ニ事業成
績ハ毎年報告書ヲ編輯シテ之ヲ印刷頒布シ主管官廳
ニ告グルコトヲ要ス

第七章 解散及清算

第三十三條 總商會ノ解散ハ會員代表及個人會員ノ四
分ノ三以上ガ出席シ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ
得ルニ非ザレバ之ヲ決議スルコトヲ得ズ

前項ノ決議ハ實業部ノ認可ヲ經ルニ非ザレバ其ノ效
力ヲ生ゼズ

第三十四條 總商會解散ノ場合ハ決議ニ依リ清算人ヲ
選任スルコトヲ得選任後職員ヲ生ジタルトキハ更ニ
之ヲ補選スルコト能ハザルトキハ主管官廳ニ
於テ之ヲ指定スルコトヲ得

第三十五條 清算人ハ總商會ヲ代表シテ清算事務ヲ執
行スル權限ヲ有ス清算人ノ定ムル清算及財産處理ノ

方法ハ會員大會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス會員大會前
項ノ決議ヲ爲サズ又ハ決議スルコト能ハザルトキハ
清算人ハ自ら清算又ハ財産處理ノ方法ヲ決定スルコ
トヲ得但シ主管官廳ノ認可ヲ經ルニ非ザレバ效力ヲ
生ゼズ

第三十六條 總商會ノ所有財産ガ債務ヲ相殺済スルニ
足ラザルトキハ其ノ不足額ハ第三十一條第一號ニ規
定シタル比例ニ依リテ之ヲ分擔スベシ

第八章 附 則

第三十七條 本章程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三六七

土地徵用暫行條例

民國二十八年五月五日

第一章 總則

第一條 國家ニ於テ公共事業ヲ施行スル爲メ土地ヲ徵用スル場合ハ本法ノ公布施行以前ニ於テハ本條例ニ依リ之ヲ行フ地方行政官署、自治團體及人民ニシテ公共事業ヲ施行セントスルモノ、國家ノ認可ヲ經タル場合亦同ジ

第二條 前條ニ掲グル公共事業ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノナルコトヲ要ス
一 公共建築物ノ創建又ハ擴充ニ關スル事業
二 交通開發ニ關スル事業
三 商港及商埠ノ開闢ニ關スル事業
四 公共衛生設備ニ關スル事業
五 市村ノ改良ニ關スル事業
六 水利ノ開發ニ關スル事業
七 教育、學術及慈善ニ關スル事業

三六八

八 國營商工業ノ創立又ハ擴充ニ關スル事業

九 國防其ノ他軍備ノ施設ニ關スル事業

十 其ノ他公用ヲ目的トスル施設ニ關スル事業

第三條 本條例ニ於テ徵用ト稱スルハ買収又ハ借用ヲ謂フ

事業施行者トハ第一條ニ規定スル目的ヲ以テ土地ヲ徵用スル主管官署、地方自治團體又ハ人民ヲ謂フ
土地ト稱スルハ宅地、田園、礦山、砂地、荒地、市街、道路、河川、溝渠、池沼、墓地等ヲ謂フ
土地所有者ト稱スルハ徵用セラルベキ土地ノ所有者ヲ謂フ
關係者ト稱スルハ徵用セラルベキ土地ニ對シ權利ヲ有スル者ヲ謂フ
第四條 本條例ニ於テ地方行政官署ト稱スルハ縣ニ於テハ縣公署、市ニ於テハ市政府、特別市ニ於テハ特別市政府ヲ謂フ
地方自治團體ト稱スルハ縣、市又ハ特別市ニ所屬スル各自治團體ヲ謂フ

地政機關ト稱スルハ特別市所屬メ土地局又ハ縣市兼理ノ土地行政其ノ他ノ機關ヲ謂フ

第五條 土地徵用左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ維新政府ヨリ權限ノ委任ヲ受ケ内政部ニ於テ之ヲ査定シタル上行政院ニ報告スベシ

一 事業施行者維新政府直轄機關省政府又ハ特別市政府ナルトキ
二 事業ノ施行維新政府機關ノ直轄ニ屬スルモノナルトキ
三 土地面積二省以上ニ涉ルトキ

第六條 土地徵用左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ省政府又ハ特別市政府之ヲ査定許可シ内政部ニ報告スベシ
一 事業施行者地方各級行政官署若ハ其ノ所屬機關又ハ地方自治團體ナルトキ
二 事業ノ施行地方行政官署ノ所轄又ハ監督ニ屬スルトキ

第七條 徵用スベキ土地内ニ名勝古蹟アルトキハ可能ノ範圍内ニ於テ徵用ヲ避ケ已ニ徵用セラレタル土地内ニ名勝古蹟アルトキハ可能ノ範圍内ニ於テ之ヲ保存スベシ

第二章 徵用ノ準備
第八條 土地徵用計畫確定シタルトキハ事業施行者ハ計畫書ヲ作製シ徵用スベキ土地ノ圖面及說明書ヲ添附シ第五條又ハ第六條ノ規定ニ依リ夫々審査及許可ヲ申請スベシ

第九條 國家、省政府及特別市政府公共事業ヲ施行スル爲メ土地ヲ徵用スル場合ハ其ノ期限十年以内トス公共道路ヲ擴張スル爲メ土地ヲ買収スル場合ニ於テ民衆ヲ破壞スルノ要ナキトキハ第五條ノ審査及許可ノ手續ヲ省略シ事業ヲ施行スル主管官署自ラ之ヲ決定スルコトヲ得

第十條 第八條ノ計畫書ニハ左ノ各號ノ事項ヲ明記スベシ
一 土地徵用ノ原因
二 徵用スベキ土地ノ所在地及範圍

三六九

三 施行すべき事業ノ性質
四 事業施行者ニ於テ施行スル事業ノ法令ノ根據
五 土地定着物ノ狀況
六 土地利用ノ現狀及其ノ利用者ノ住所氏名
七 隣接地ノ利用現狀及其ノ土地ニ在ル定着物ノ狀況
八 土地内ノ名勝古蹟ノ有無若シ有ルトキハ其ノ現狀及沿革
九 土地所有者ノ住所氏名、所有者不明ナルトキハ其ノ管理者ノ住所氏名
第十條 維新政府内政部、省政府及特別市政府ノ地徵用ヲ認可シタルトキハ原案全部ヲ該土地所在地ノ地政機關ニ送付スベシ
第十一條 同一土地ニ付二人以上ノ徵用申請者アルトキハ施行スベキ事業ノ性質ノ輕重ヲ以テ裁定ノ標準トス
第十三條 徵用ノ手續
第十三條 地政機關ハ内政部、省政府及特別市政府

三七〇
ヨリ土地徵用認可ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ公告シ同時ニ書面ヲ以テ土地所有者及關係者ニ通知シ併セテ公告ノ年月日ヲ内政部ニ報告スベシ
第十四條 前條ニ掲グル公告及通知ニハ事業施行者ノ名稱、事業ノ種類及事業施行ノ地域ヲ記載スベシ前項ノ公告ハ主管地政機關及被徵用地ノ見易キ場所ニ之ヲ表示スベシ
第十五條 事業施行者ハ地政機關ニ於テ第十三條ノ公告及通知ヲ爲シタル後ハ製圖、測量及調査ノ爲該土地ニ立入ルコトヲ得
前項ノ工作ヲ施行スル爲必要アルトキハ土地所有者及關係者ニ通知シ其ノ土地ノ障害物ヲ除去セシメ又ハ代ツテ之ヲ除去スルコトヲ得
第十六條 地政機關ニ於テ第十三條ノ公告及通知ヲ爲シタル後ハ土地所有者又ハ關係者ハ方法ノ如何ヲ問ハズ徵用ノ妨害ヲ爲スコトヲ得ズ
第十七條 國家又ハ省ニ於テ土地ヲ徵用セントスルトキハ事業施行ノ主管官署ハ第十三條ノ公告及通知

テ爲シタル後該土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲土地所有者及關係者ト協議スベシ
協議調ハザルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ地方行政官署ニ囑託シ徵用審査委員會ヲ組織シ之ヲ裁定ス
特別市、縣及市ニ於テ土地ヲ徵用セントスルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ爲スベシ但シ白ラ徵用審査委員會ヲ組織スルコトヲ得
第十八條 地方自治團體又ハ人民事業施行者タルトキハ第十三條ノ公告及通知アリタル後該土地ノ權利ヲ取得スル爲土地所有者及關係者ト協議スベシ協議調ハザルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ地方行政官署ニ申請シ地方行政官署ハ徵用審査委員會ヲ召集シ之ヲ裁定スベシ
第十九條 第十七條ノ規定ニ依リ囑託シ又ハ第十八條ノ規定ニ依リ徵用審査委員會ヲ召集テ申請セントスルトキハ囑託書又ハ申請書ニ左ノ各號ノ事項ヲ記載シ地方行政官署ニ提出スベシ

一 土地所有者及關係者ノ住所氏名又ハ其ノ名稱及事務所
二 被徵用土地ノ所在地
三 被徵用土地ノ面積並ニ其ノ土地ニ在ル定着物ノ種類及數量
四 補償金額
五 買收時期
六 借用時期
第二十條 地方行政官署前條ノ囑託書又ハ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ地政機關ニ通知シ且公告シ同時ニ土地所有者及關係者ニ通知スベシ
地方行政官署事業施行者タルトキハ直ニ前條ニ掲グル各事項ヲ地政機關ニ通知シ且之ヲ公告シ同時ニ土地所有者及關係者ニ通知スベシ
第二十一條 土地所有者又ハ關係者ハ前條ノ公告アリタルヨリ三十日以内ニ意見書ヲ地方行政官署ニ提出スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ地政機關ニ其ノ旨報告スルコトヲ要ス

第三十二條 地方行政官署ハ前條ノ期間満了後直ニ徵用審査委員ヲ招集スベシ
第三十三條 徵用審査委員ハ開會ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ裁決スベシ但シ地方行政官署ニ於テ必要ト認メタルトキハ之ヲ延期スルコトヲ得
第三十四條 徵用審査委員裁決ヲ爲シタルトキハ裁決書ヲ作成シ地方行政官署ニ報告スベシ
地方行政官署前項ノ報告ヲ受領シタルトキハ裁決書ヲ事業施行者、土地所有者及關係者ニ送達シ同時ニ其ノ一部ヲ地政機關ニ送付スベシ
第四章 徵用審査委員會
第三十五條 徵用審査委員會ノ議決事項左ノ如シ
一 徵用土地ノ範圍
二 補償金額
三 買取ノ時期及借用期間
事業施行者ノ主張本條例其ノ他ノ法令ノ規定ニ違反セル場合ニ於テハ徵用審査委員會ハ却下ノ裁決ヲ爲スコトヲ得
第三十六條 徵用審査委員會ニ委員長一人、委員八人ヲ置ク委員長ハ地方行政官署ノ長官ヲ以テ之ニ充ツ委員中少クトモ二人ハ土地所有者及關係者ニ於テ推舉シタル者ヲ以テ之ニ充テ其ノ他ハ地方法定農工商團體ニ於テ派遣シタル代表ヲ以テ之ニ充ツ
第三十七條 徵用審査委員會ハ全委員ノ過半数ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ表決スルコトヲ得ズ
第三十八條 徵用審査委員會ニ於テ必要ト認ムルトキハ鑑定人ヲ指定シ鑑定セシムルコトヲ得
第三十九條 徵用審査委員會ニ於テ必要ト認ムルトキハ事業施行者、土地所有者、關係者及隣接地ノ所有者ヲ列席セシメ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得
第三十條 徵用審査委員會ニ於テ裁決ヲ爲サントスルトキハ裁決書ヲ作成シ理由ヲ附記シ委員長之ニ署名スベシ
第三十一條 徵用スベキ土地ニ以上ノ地方行政區劃ニ跨ルトキハ各機關及地方行政官署ハ第二十六條ノ規定ニ依リ聯合シテ徵用審査委員會ヲ組織シ且其ノ委

三七二

員長ハ之ヲ公選スベシ
第五章 土地補償金及移轉費
第三十二條 土地所有者及關係者ノ土地徵用ニ因リテ受ケタル損失ハ事業施行者ニ於テ時價ニ依リ評價シ之ヲ補償スベシ
第三十三條 土地ノ徵用ニ因リ殘地ガ從來ノ用ニ供スルコト能ハザルニ到リタルトキハ土地所有者ハ事業施行者ニ對シ全部ノ徵用ヲ要求シ且其ノ補償ヲ請求スルコトヲ得
第三十四條 第十五條第二項ノ規定ニ依リ土地障礙物ヲ除去シタル爲損害ヲ受ケタルトキハ時價ニ依リ評價シ之ヲ補償スベシ
第三十五條 徵用スベキ土地ノ定着物ハ事業施行者ニ於テ移轉料ヲ給與シ一定期間内ニ之ヲ移轉セシムベシ但シ一部分ノ徵用ニ因リ其ノ土地ニ在ル定着物全部ヲ移轉スル必要アルトキハ其ノ所有者ハ全部ノ移轉料ヲ要求スルコトヲ得
土地ノ定着物移轉ニ因リ從來ノ用ニ供スルコト能ハザルニ到リタルトキハ其ノ所有者ハ之ガ徵用ヲ要求スルコトヲ得
第三十六條 土地及土地定着物ノ補償ヲ爲サントスルトキハ事業施行者ニ於テ公告終了又ハ裁決確定ノ日ヨリ十五日以内ニ定メラレタル補償金額ヲ主管地政機關ニ拂込ムベシ
第三十七條 地政機關前條ノ金額ヲ受領シタルトキハ三十日ヲ越エザル期限内ニ於テ速ニ之ヲ土地所有者ニ交付スベシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ受領者アルニ至ル迄補償金ヲ保管スルコトヲ得
一 補償ヲ受クベキ者ニシテ受領ヲ拒絶シ又ハ受領スルコト能ハザル場合
二 補償ヲ受クベキ者ニシテ所在不明ナル場合
第六章 監督、強制及罰則
第三十八條 縣又ハ市ノ徵用審査委員會ノ爲シタル裁決ニシテ其ノ權限ヲ越エ又ハ法令ニ違反シタルトキハ省政府ハ之ヲ取消スコトヲ得
省又ハ特別市ノ徵用審査委員會ノ爲シタル裁決ニシ

三七三

テ其ノ權限ヲ越エ又ハ法令ニ違反シタルトキハ内政部ハ之ヲ取消スコトヲ得

第三十九條 義務者本條例ニ定ムル義務ヲ履行セズ又之ヲ履行スルモ一定ノ期間内ニ終了セザル場合ハ地方行政官署自ラ之ヲ執行シ又ハ他ニ命ジテ之ヲ代執行セシムルコトヲ得

義務者本條例ニ定ムル義務ノ履行ヲ拒避シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依リ代執行ヲ爲サシムルコト能ハザルトキハ地方行政官署ハ直接其ノ履行ヲ強制スルコトヲ得

第四十條 第七條第二項ノ規定ニ違反シタルトキハ當該事業施行者ヲ責令シ名勝古蹟ヲ適當ナル方法ヲ以テ保存セシムルノ外百元以上千元以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 第十五條第一項ノ規定ニ違反シ地方主管地政機關ノ公告及通知アルニ先子擅ニ他人ノ土地ニ入りタル者ハ三十元以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條 第十五條第二項ノ規定ニ違反シ地方主管地政機關ノ公告及通知アルニ先子陳物ヲ除却シタル者ハ其ノ價格ヲ賠償セシメ且五十元以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條 鑑定人徵用審査委員會ニ於テ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ五百元以下ノ罰金ニ處ス

第四十四條 鑑定人及第二十九條ノ規定ニ依リ呼出テ受ケタル者故ナク出頭セザルトキハ二十元以下ノ罰金ニ處ス

第七章 訴願及訴訟

第四十五條 縣又ハ市ノ徵用審査委員會ノ裁決ニ對シ不服アル者ハ省政府ニ訴願シ省又ハ特別市ノ審査委員會ノ裁決ニ對シ不服アル者ハ内政部ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ訴願ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ二十日以内ニ之ヲ提起スベシ但シ提起手續中ニ要スル期間ハ其ノ計算ヨリ扣除ス

第四十六條 徵用審査委員會ノ裁決ニ對シ不服アル者ハ當該管轄地方法院ニ提訴スルコトヲ得但シ未ダ訴

願ヲ爲サザル場合ニ限ル

前項ノ訴願ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ一月以内ニ之ヲ提起スベシ

第四十七條 土地徵用ハ訴願又ハ訴訟ニ依リ之ヲ中止セズ

第八章 附則

第四十八條 省政府又ハ市政府ハ本條例ニ違反セザル範圍内ニ於テ本條例ヲ補充スベキ單行規程ヲ制定スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨内政部ニ報告シ内政部ニ於テハ審査ノ上之ヲ維新政府ニ傳達シ保管ニ備フベシ

第四十九條 本條例施行後ハ中央及地方ノ土地徵用ニ關スル法規ハ之ヲ廢止ス

第五十條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス